

だれもが、いつでも、いつまでも
スポーツを楽しむ
生涯スポーツ社会の実現

宇都宮市スポーツ推進計画

～ 「ひとり1スポーツ」の実現 ～

平成27年 3月

宇都宮市
宇都宮市教育委員会

目 次

| | | |
|-----|------------------------------|----|
| 第1章 | 計画策定にあたって | |
| 1 | 計画策定の目的 | 1 |
| 2 | 計画の位置づけ | 1 |
| 3 | 計画期間 | 2 |
| 第2章 | スポーツの定義 | |
| 1 | 国におけるスポーツの意義と役割 | 3 |
| 2 | スポーツの定義 | 5 |
| 第3章 | スポーツを取り巻く現状と課題 | |
| 1 | 社会環境の変化 | 8 |
| 2 | 国・県の動向 | 12 |
| 3 | 本市のスポーツの現状と課題 | 17 |
| 第4章 | スポーツ推進の基本的な考え方 | |
| 1 | 基本理念 | 41 |
| 2 | 基本目標 | 43 |
| 第5章 | スポーツ推進のための施策・事業 | |
| 1 | 施策・事業の推進により目指すもの | 45 |
| 2 | 基本施策 | |
| | ・基本施策1：ライフステージ等に応じたスポーツ活動の推進 | 46 |
| | ・基本施策2：スポーツ活動環境の充実 | 51 |
| | ・基本施策3：スポーツを支える人材の育成・団体の活性化 | 59 |
| 第6章 | 計画推進のために | |
| 1 | 生涯スポーツ社会の実現に向けた役割 | 62 |
| 2 | 計画の実現に向けて | 69 |

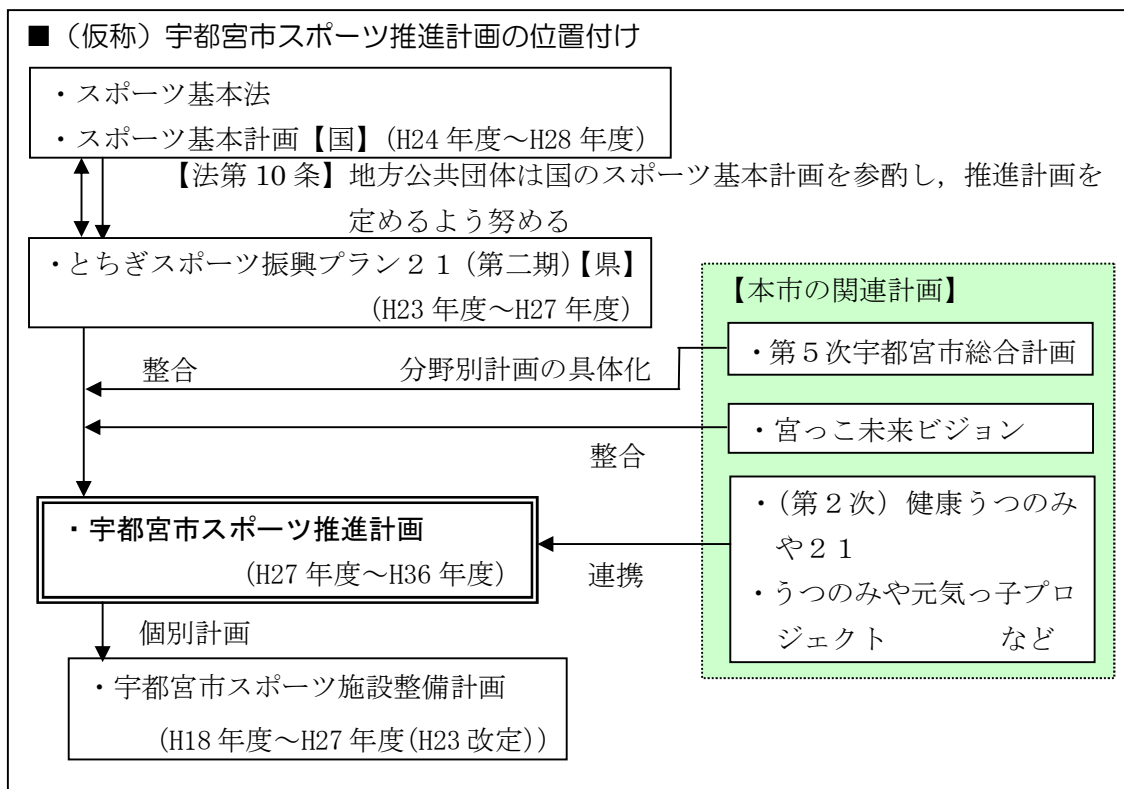
第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の目的

- 宇都宮市は、平成18年4月に「宇都宮市スポーツ振興基本計画」を策定し、市域におけるスポーツ振興を進めてきました。その後、少子高齢化に伴う人口減少や、子どもをはじめとする市民の体力の低下、また、裾野の広いスポーツ振興においても無縁ではない地域コミュニティの希薄化が進展するとともに、東日本大震災による影響を受ける等、状況が大きく変化しております。今後は、こうした社会環境の大きな変化や、市民の価値観の多様化、スポーツに対するニーズの高まりなどの課題に的確に対応していく必要があります。
- また、国においては、「スポーツ振興法」を50年ぶりに全部改正し、平成23年8月に「スポーツ基本法」が施行されました。また、平成24年3月には従来の「スポーツ振興基本計画」を改定し、子どものスポーツ機会の充実や、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進等を掲げた「スポーツ基本計画」が策定されました。
- 本市の現行計画である「スポーツ振興基本計画」の進捗状況や、「スポーツ施設整備計画」が平成27年度に計画期間が終了することを踏まえ、国の「スポーツ基本計画」との整合を図りながら、すべての市民がスポーツを通じて豊かな生活を営むことができる社会の実現に向け、「宇都宮市スポーツ推進計画」を策定します。

2 計画の位置づけ

- (1) スポーツ基本法第10条に基づき、スポーツを総合的かつ計画的に推進するため、国及び県の計画と整合を図りながら策定する計画です。
- (2) 第5次宇都宮市総合計画（後期基本計画）の分野別計画に掲げる基本施策「生涯にわたるスポーツ活動を促進する」を実現するための計画です。
- (3) 教育全般の指針となる「うつのみや人づくりビジョン（宮っこ未来ビジョン）」におけるスポーツ推進分野の個別計画です。



3 計画期間

- 国のスポーツ基本計画では、「今後概ね10年間程度を見通した計画」としつつ、社会やスポーツ界の変化の早さに適切に対応し、期間経過後に施策の改善サイクルに結びつけるため、概ね5年間の施策を体系化しています。
- 本市においても、国の計画期間の考え方を踏まえ、計画期間を平成27年度から平成36年度までの10年間とし、計画の進捗状況や社会情勢の変化、スポーツをめぐる環境の変化などに対応するため、必要に応じて見直しを行います。

本市の計画期間 平成27年度 ～ 平成36年度

第2章 スポーツの定義

1 国におけるスポーツの意義と役割

【スポーツの意義】

- スポーツ基本法の前文には、「スポーツは、世界共通の人類の文化である。」と明記され、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものとなっております。そのスポーツ活動を通じ、心身の健康のみならず、活力に満ちた社会の形成や、人々の交流の創出など、様々な効果が期待されています。
- また、スポーツは現代社会において顕在化している各年齢層における体力の低下、青少年の健全育成の問題、高齢化の進行や生活習慣病の増加による医療費の増大、余暇時間の有効活用などといった諸課題に対応するものとして、様々な社会的意義があると言われてしています。

【スポーツの役割】

- 幸福で豊かな生活の実現
 - ・ 身体を動かす本源的欲求に応えるもの
 - ・ 爽快感、達成感、他者との連帯感等精神的充足、楽しさ、喜び
 - ・ 体力の向上、精神的ストレスの解消、生活習慣病の予防、心身両面にわたる健康の保持増進
 - ・ 人間の可能性の極限を追及する営み
 - ・ 競技者の極限へ挑戦するパフォーマンス

【スポーツを通じて目指すべき社会の姿】

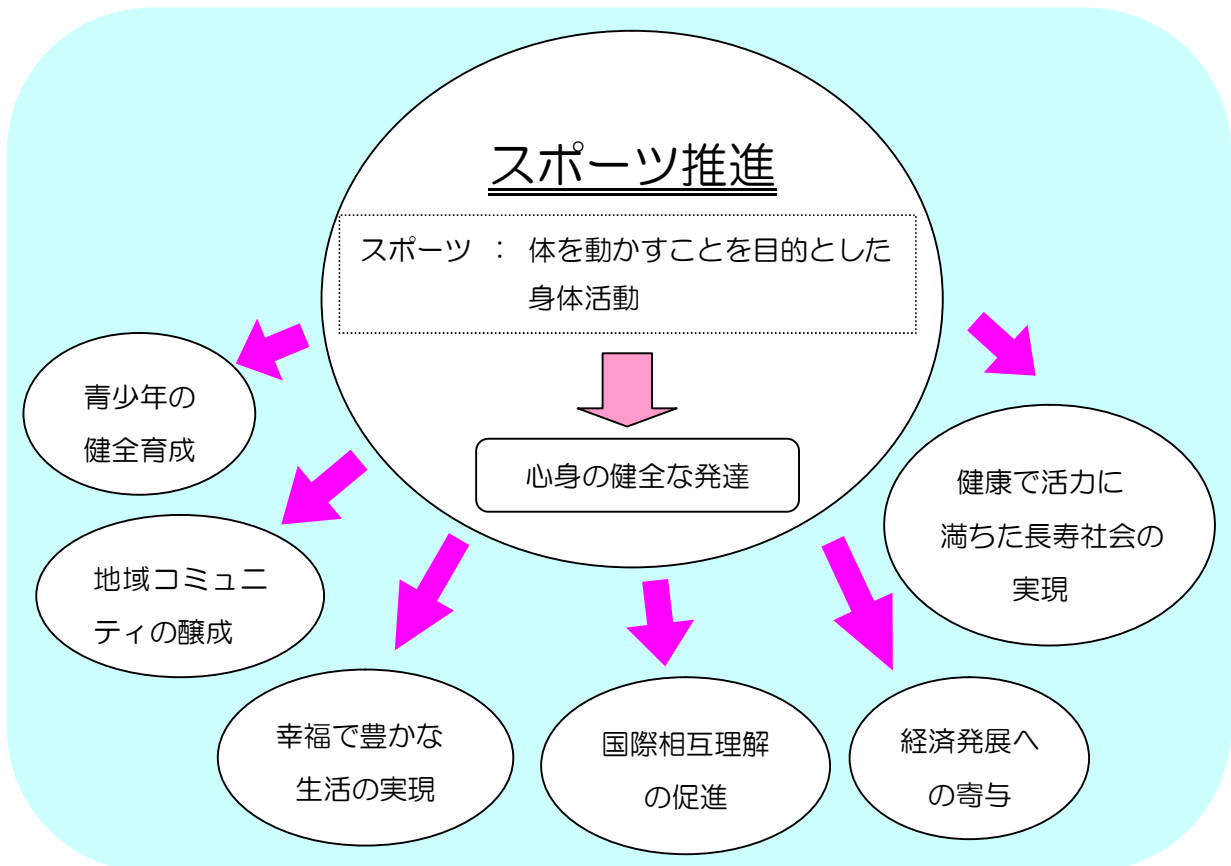
- 地域コミュニティの醸成
 - ・ 人と人との交流や地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成
- 青少年の健全育成
 - ・ 体力を向上させるとともに、他者を尊重し協同する精神や、公正さと規律を尊ぶ態度を学ぶとともに、己に打ち勝つ心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等、人格の形成に寄与する

- 健康で活力に満ちた長寿社会の実現
 - ・ 心身の健康の保持増進

- 経済発展への寄与
 - ・ 社会に活力を生み出し，経済の発展に広く寄与

- 国際相互理解の促進
 - ・ 国際的な交流や貢献が，国際相互理解を促進

■スポーツの意義



2 スポーツの定義

スポーツは、社会環境の変化とともに、その意義は、より広範囲になり、求められる役割は、より高いものになっています。そのため、スポーツ基本法におけるスポーツのとらえ方を参考にするとともに、市民のライフスタイルの変化等も考慮しながら、より分かりやすく、より具体的な例を挙げて表したものを、本市のスポーツの定義として掲げ、計画を策定します。

(1) スポーツ基本法におけるスポーツのとらえ方

スポーツ基本法の前文には、以下のとおり記載されています。

スポーツは、心身の健全発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動である。

(2) これまでの計画における本市のスポーツの定義

本市の現行計画であるスポーツ振興基本計画においては、以下のとおりスポーツの定義を定めていました。

「スポーツ」とは、運動競技及び身体活動（キャンプ活動その他の野外活動を含む。）であって、心身の健全な発達を図るために行うものを言う。



(3) 本計画における本市のスポーツの定義

本計画の策定に際しては、「スポーツ」の定義を以下のように行い、計画を策定することとします。

・本計画における「スポーツ」の定義

一般的な競技スポーツやダンスなどに加え、ウォーキング・散歩・ラジオ体操などの比較的軽い運動やキャンプなどの野外スポーツ、さらに買い物や通勤などについて、健康体力づくりを目的に車から徒歩や自転車に変更して行うなど、目的意識を持った身体活動も含むものである。

- スポーツ基本法の前文においては、スポーツは、運動競技だけでなく、広く身体活動を対象とし、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進などを図るために行うものを指しています。本市がスポーツを定義するに当たっては、こうした、スポーツ基本法における定義を参考にします。
- 交通手段や情報技術が発達した現代社会においては、人々の生活が便利になる一方で、体を動かして、移動したり作業したりする機会は減っています。また、子どもたちは学校活動や習い事・塾通いなど、大人は通勤や仕事など、多忙な生活を送る中で、スポーツに取り組む「時間がない」「気持ちはあっても、機会がない」などの理由で、運動不足の解消や、スポーツ活動の実施がなかなか出来ていないのが現状です。
- そのような中、スポーツの意義の再認識や、健康意識の高まりを背景に、何とか時間を捻出してスポーツ活動に取り組んだり、また、生活習慣病の予防や体力づくりなどのために、徒歩や自転車での通勤や買い物を心がけたりするなど、日常生活の中で体を動かすことに意識的に取り組む人々が増えている様子も見受けられます。
- 本市では、こうした市民のライフスタイルの多様化や日常生活の中での意識の変化を考慮しながら、運動競技はもちろんのこと、「日常生活における“移動”と、“意識的に体を動かす”目的を合わせて取り組む」など、目的を持った身体活動であれば、これを「スポーツ」と捉えます。

【参考】

文部科学省の「体力・スポーツに関する世論調査」における運動やスポーツの具体例

- (ア) キャッチボール，ドッジボール
 - (イ) 体操（ラジオ体操，職場体操，美容体操，エアロビクス，縄跳びを含む）
 - (ウ) ウォーキング（歩け歩け運動，散歩などを含む）
 - (エ) ダンス（フォークダンス，ジャズダンス，社交ダンス，民謡踊りを含む）
 - (オ) ボウリング
 - (カ) ゲートボール，グラウンドゴルフ
 - (キ) ランニング（ジョギング）
 - (ク) 水泳
 - (ケ) 室内運動器具を使ってする運動
 - (コ) スキー，スノーボード
 - (サ) スケート
 - (シ) 登山（クライミングを含む）
 - (ス) キャンプ，オートキャンプ
 - (セ) ハイキング，ワンダーフォーゲル，オリエンテーリング
 - (ソ) ボート，ヨット，ボードセーリング，スキューバダイビング，スキューバダイビング，カヌー，水上バイク，サーフィン，釣り
 - (タ) ゴルフ
 - (チ) グライダー，ハンググライダー，スカイダイビング，パラグライダー
 - (ツ) サイクリング，モーター（サイクル）スポーツ
 - (テ) 陸上競技
 - (ト) 柔道，剣道，空手，相撲，ボクシング，レスリング
 - (ナ) 弓道，アーチェリー
 - (ニ) 野球，ソフトボール
 - (ヌ) サッカー，フットサル
 - (ネ) バレーボール，バスケットボール
 - (ノ) テニス，ソフトテニス，バドミントン，卓球
- その他

第3章 スポーツを取り巻く現状と課題

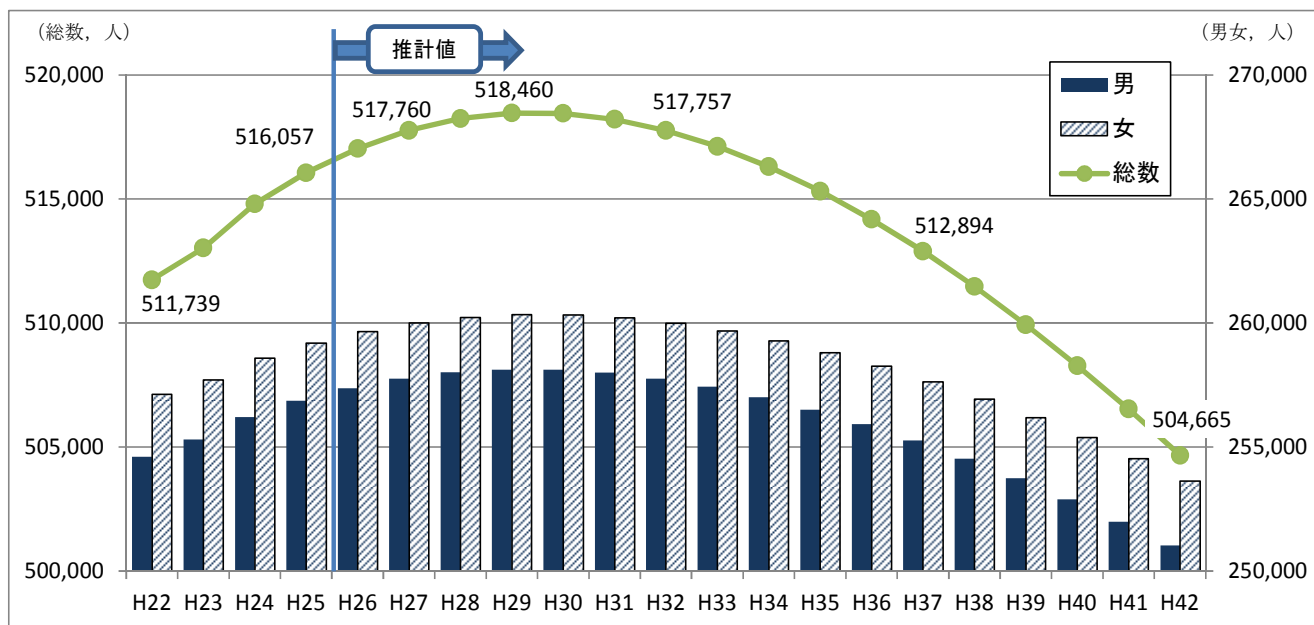
1 社会環境の変化

平成18年の「宇都宮市スポーツ振興基本計画」策定後、社会・経済状況は大きく変化しており、それに伴い、スポーツを取り巻く社会環境にも大きな変化が見られます。その主なものとしては、次のようなものが挙げられます。

(1) ライフスタイルの変化

少子高齢化の急速な進展により、日本は平成17年から人口が減少に転じており、宇都宮市においても、平成29年をピークに減少局面を迎えることが予想されています。また、平成23年3月に発生した東日本大震災により、人々の行動や意識が大きな影響を受ける中、家族とのつながりや地域とのつながりなど、絆が強く意識されるとともに、物の豊かさよりも心の豊かさへの欲求が強くなっている様子が見受けられます。こうした変化は、スポーツの果たす役割や効果への期待の高まりに繋がることも予想されます。

【 宇都宮市の総人口の推移 】



※宇都宮市の将来推計人口（平成26年7月推計）より

(2) 子どもの体力の低下

文部科学省が行っている「体力・運動能力調査」によると、子どもの体力・運動能力は、昭和60年頃から現在まで、低下傾向が続いていましたが、近年は、持久走、50m走、ソフトボール投げなど、基礎的運動能力においては、横ばい、または向上傾向が見られるようになりました。

しかし、いまだに十分な改善に至ったとは言えず、将来的な国民全体の体力低下にもつながり、社会全体の活力が失われることが懸念されます。

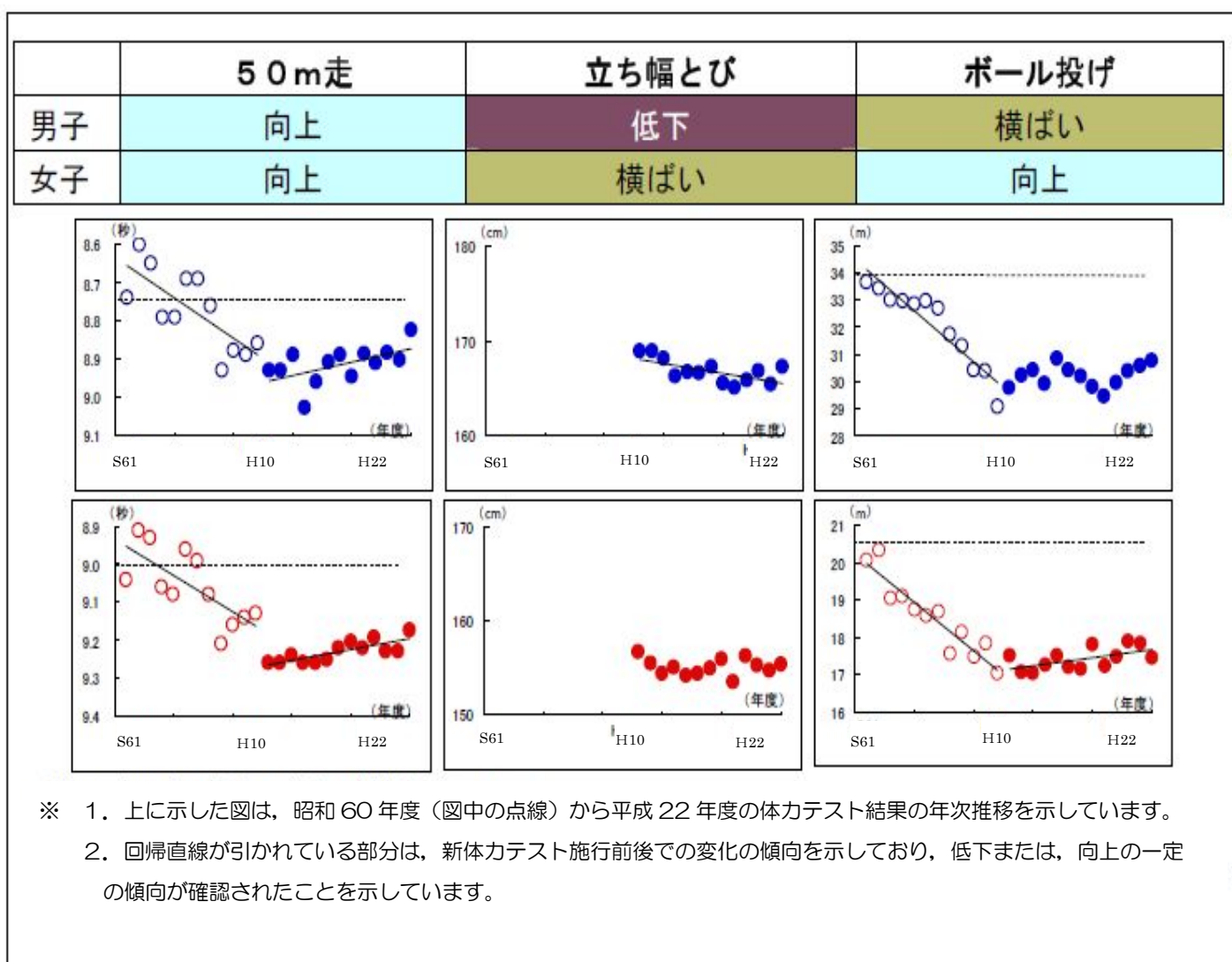


図5-1 長期的（昭和60～平成22年度）にみた走跳投の変化 小学生（11歳）

※ 文部科学省：平成22年度体力・運動能力調査報告書より一部抜粋

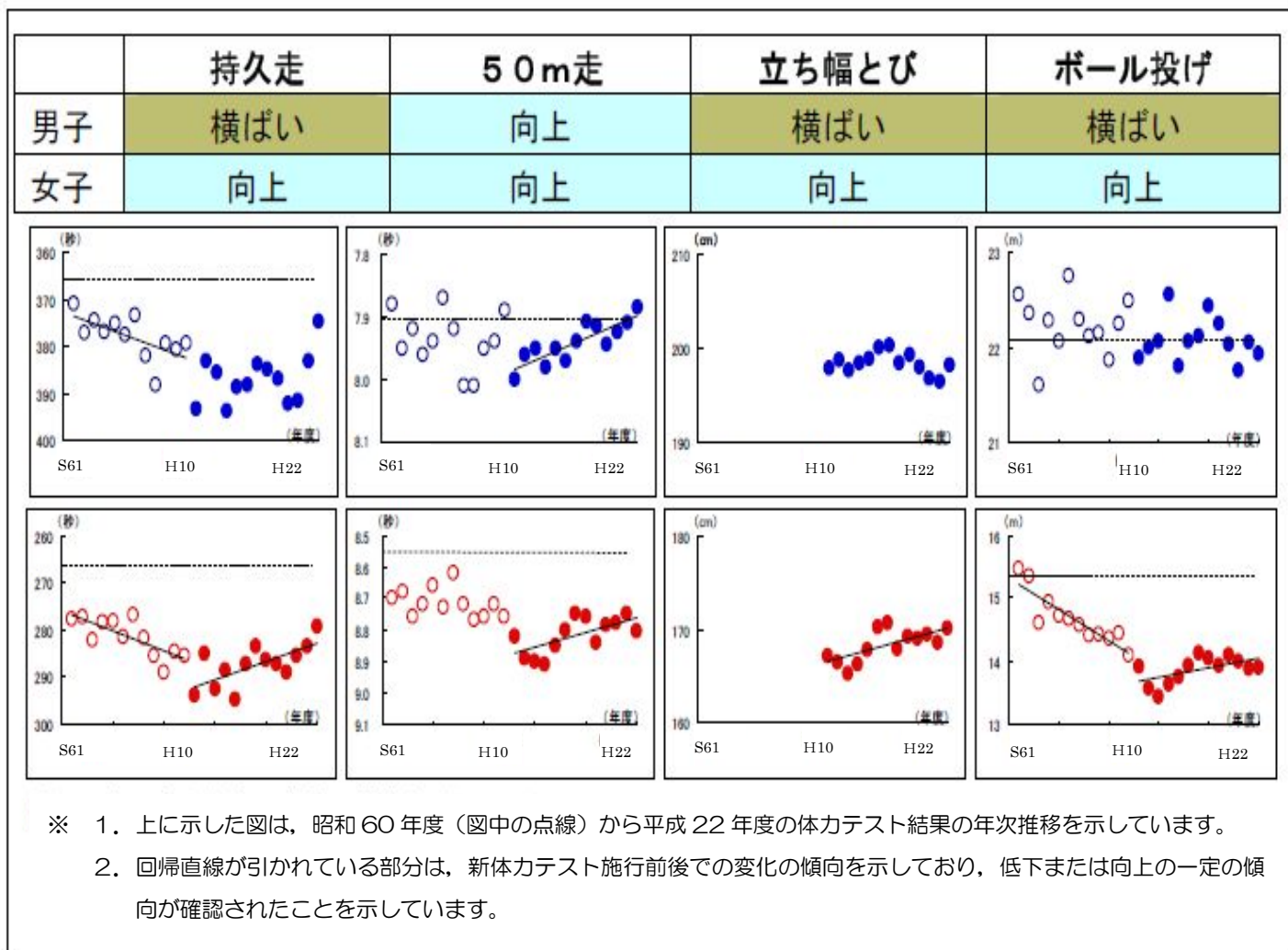


図5-2 長期的(昭和60~平成22年度)にみた走跳投の変化 中学生(13歳)

(3) 高齢化の進展

日本の高齢化は急速に進行しており、平成23年10月現在で、65歳以上の高齢者人口は過去最高の2,975万人となり、総人口に占める65歳以上人口の割合(高齢化率)は23.3%と、ほぼ4人に1人が高齢者となっています。

本市が、平成23年12月に実施した「宇都宮市スポーツに関する市民意識調査」では、70歳以上の高齢者は、スポーツを行わない理由について、「体が弱いから」、「年をとったから」との回答が大きな割合を示しています。

そのような中、高齢者が健康で生きがいを持って生活を送るために、スポーツが果たす役割に期待が寄せられています。

(4) 情報通信技術（ICT）の発展

情報通信技術（ICT）の発展などから、世界中のスポーツ情報がテレビやインターネット等を通じて入手できるようになり、人々のスポーツに関する興味・関心はより一層高まっています。

また、身近なスポーツや健康づくりに関する情報が手軽に入手できるようになるなど、日常生活におけるスポーツの取組の向上をもたらすようになりました。

しかし、オンラインショッピングやオンラインゲームなどの普及は、外出することなく買い物をしたり、遊んだりすることを可能とする一方、日常生活の中で、体を動かす機会を減らす原因ともなっています。

(5) ビッグスポーツイベントの開催

平成23年に開催された「FIFA（フィーファ）女子ワールドカップドイツ2011」においては、本市出身の安藤梢（あんどこうすえ）選手、鮫島彩（さめしまあや）選手の活躍もあり、サッカー日本女子代表チーム「なでしこジャパン」が初優勝しました。

また、平成24年夏にはロンドン・オリンピックが開催され、本市ゆかりの萩野公介（はぎのこうすけ）選手が、競泳男子400メートル個人メドレーにおいて日本新記録で銅メダルを獲得するとともに、日本が過去最高のメダル数を獲得するなど目覚ましい活躍がみられました。

このようなビッグスポーツイベントは、競技力の向上や国際親善に役立つばかりでなく、青少年を始め多くの人々のスポーツに対する興味・関心を高め、私たちに感動や夢と希望を与えています。

さらには、平成32年夏のオリンピック・パラリンピック競技大会が東京で開催されることが決定し、国内では、スポーツに対する関心がこれまで以上に高まっています。その中で、平成26年4月1日、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、障がい者スポーツの所管が厚生労働省から文部科学省へ移管され、強化や支援などを一元的に進めていくこととされました。

2 国・県の動向

(1) 国の動向

ア 「スポーツ立国戦略」の策定

スポーツの意義や価値が広く国民に共有され、より多くの人々がスポーツの楽しさや感動を分かち、互いに支え合う「新たなスポーツ文化の確立」を目指し、平成22年8月26日に策定されました。

① 基本的な考え方

- 人（する人、観る人、支える（育てる）人）の重視
 - ・ スポーツを実際に「する人」だけでなく、トップレベルの競技大会やプロスポーツの観戦等スポーツを「観る人」、そして指導者やスポーツボランティアといった「支える（育てる）人」にも着目し、人々が生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境を整備
- 連携・協働の推進
 - ・ トップスポーツと地域スポーツの好循環を創出
 - ・ 新しい公共の形成等による、社会全体でスポーツを支える基盤を整備

② 5つの重点戦略

基本的な考え方から導かれる、今後概ね10年間で実施すべき5つの重点戦略

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">○ ライフステージに応じたスポーツ機会の創造○ 世界で競り合うトップアスリートの育成・強化○ スポーツ界の連携・協働による「好循環」の創出○ スポーツ界における透明性や公平・公正性の向上○ 社会全体でスポーツを支える基盤の整備 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

イ スポーツ基本法の制定

国は、「スポーツ振興法」を昭和36年に制定し、スポーツの振興に努めてきましたが、スポーツを行う目的が多様化し、地域におけるスポーツクラブの成長や、競技技術の向上、プロスポーツの発展、スポーツによる国際交流や貢献の活発化など、スポーツを巡る状況は大きく変化しています。このため、「スポーツ振興法」を50年ぶりに全面改正し、スポーツの推進のための基本的な法律として、「スポーツ基本法」が平成23年6月に公布、8月に施行されました。

① 前文

前文には、スポーツの価値や意義、スポーツの果たす役割の重要性が示されています。

- スポーツは、世界共通の人類の文化である
- スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利である

② 基本理念

スポーツの推進に関する8項目の基本理念

- 生涯にわたりあらゆる機会と場所において、自主的・自律的に適性や健康状態に応じてスポーツを行うことができるようにする。
- 学校、スポーツ団体、家庭及び地域における活動の相互の連携を図る。
- 地域において、スポーツを身近に親しむことができるようにするとともに、スポーツを通じて、地域の人々の交流が促進され、かつ、地域間の交流の基盤が形成されるよう推進する。
- スポーツを行う者の心身の健康の保持増進、安全の確保を図る。
- 障がい者が自主的かつ積極的にスポーツが行えるよう配慮する。
- スポーツに関する競技水準の向上に資する諸施策相互の有機的な連携を図りつつ、効果的に推進する。
- 国際相互理解の増進及び国際平和に寄与するものとなるよう推進する。
- スポーツに対する国民の幅広い理解及び支援が得られるよう推進する。

③ 国，地方公共団体の責務

○ 国の責務

基本理念にのっとり，スポーツに関する施策を総合的に策定し，実施する責務を有しています。

○ 地方公共団体の責務

基本理念にのっとり，スポーツに関する施策に関し，国と連携を図りつつ，自主的，主体的に，その地域の特性に応じた施策を策定し，実施する責務を有しています。

④ スポーツ基本計画等

○ スポーツ基本計画

文部科学大臣は，スポーツに関する施策の総合的・計画的な推進を図るため，スポーツ基本計画を定めなければならないと規定されています。

○ 地方スポーツ推進計画

地方公共団体は，スポーツ基本計画を参考とし，その地方の実情に即したスポーツ推進計画を定めるよう努めることと規定されています。

⑤ 基本的施策

スポーツ推進の基本的な施策について規定されています。

○ スポーツ推進のための基礎的条件の整備

○ 多様なスポーツの機会の確保のための環境整備

○ 競技水準の向上等

ウ 国によるスポーツ基本計画の策定

スポーツ基本法の理念を具体化し，今後の日本のスポーツ政策の具体的な方向性を示すものとして，国，地方公共団体及びスポーツ団体等の関係者が一体となって施策を推進していくための重要な指針として位置づけられています。

① 計画期間

10年間程度を見通した平成24年度からの概ね5年間

② 取り組むべき施策

「年齢や性別、障がい等を問わず、広く人々が、関心、適性等に応じてスポーツに参画することができる環境を整備すること」を基本的な政策課題とし、今後5年間に総合的かつ計画的に次の施策に取り組むとしています。

- 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実
- 若者のスポーツ参加機会の拡充や高齢者の体力づくり支援等のライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備
- 国際競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備
- オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会の招致・開催等を通じた国際貢献・交流の推進
- ドーピング防止やスポーツ仲裁等の推進によるスポーツ界の透明性、公平・公正性の向上
- スポーツ界における好循環の創出に向けたトップアスリートと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進

(2) 県の動向

ア 「とちぎスポーツ振興プラン21（二期計画）」の作成

「とちぎスポーツ振興プラン21」の策定以降、スポーツに対するニーズがこれまで以上に高まってきていることから、「とちぎスポーツ振興プラン21」の成果と課題を踏まえ、新たに「とちぎスポーツ振興プラン21（二期計画）」が平成23年3月に策定されました。

① 基本理念

誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しめるような環境整備に取り組む中で、スポーツを通じて元気なとちぎを創造すること「スポーツによる元気なとちぎの創造」を基本理念として、本県のスポーツの振興を図ることとされています。

② 基本目標

生涯を通じて様々な形で積極的にスポーツに接することができるように基本目標を「県民総スポーツの推進」と定めています。

○ 重点目標

- ・ 子どもの体力向上
- ・ 成人のスポーツ活動実施率の上昇
成人の週1日以上スポーツ活動実施率が2人に1人以上（50%以上）となること

③ 4つの視点

基本理念、基本目標を実現するための4つの視点

- 生涯スポーツの振興
- 学校体育・スポーツ活動の充実
- 競技スポーツの振興
- スポーツ環境の整備・充実

イ 総合スポーツゾーンについて

昭和55年の栃の葉国体以来、長年にわたり本県スポーツの拠点としての役割を担ってきた栃木県総合運動公園については、公園内の運動施設の更なる機能の向上、プロスポーツを含めたトップアスリートに対する支援等の観点から、宇都宮市西川田町の元運転免許試験場など、県有未利用地を含めた区域を県民総スポーツの推進拠点として、新たに総合スポーツゾーンとして整備することと決めました。

ウ 平成34年開催第77回国民体育大会について

平成34年には、第77回国民体育大会が栃木県で開催される予定であり、本県での開催は、昭和55年に行われた第35回大会（栃の葉国体）から42年ぶりとなります。

国民体育大会の開催は、本県スポーツ選手の育成や競技スポーツの振興、スポーツ環境の整備・充実など、本県スポーツの発展に大きく寄与することとなり、また、観光振興や経済の活性化など、栃木の元気アップにも繋がることが期待されます。

3 本市のスポーツの現状と課題

◆ 宇都宮市の取り組み

本市では、平成18年3月に「宇都宮市スポーツ振興基本計画」を策定し、「いつでも、だれもが、いつまでも、スポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現」を目指し、各種施策・事業を推進してきました。

今回の、宇都宮市スポーツ推進計画の策定にあたっては、これまでの計画の進捗状況や、本市のスポーツの現状や課題を検証する必要があります。

(1) スポーツ振興基本計画の進捗状況と評価

スポーツ振興基本計画では、「スポーツニーズに対応したスポーツ事業の充実」、「市民スポーツを支援する人材の育成」、「スポーツ施設の整備・充実」、「スポーツ情報やネットワーク・サポート体制の充実」の4つを基本施策に掲げ各種事業を展開してきました。

ア 基本目標

基本理念である「いつでも、だれもが、いつまでも、スポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現」に向けて、目標年次である平成27年度において「20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率を50%（2人に1人）にすること」を計画の基本目標としていました。

《スポーツ活動実施率の達成状況》

| 指 標 | 基 準 | 目 標 | 実 績 | 達 成 率 | 参 考 | |
|------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | H15年 | H27年 | H22年 | | H24年 | H25年 |
| ス ポー ツ 活 動 実 施 率 | 33.4 % | 50.0 % | 37.0 % | 74.0 % | 49.2 % | 51.6 % |

【評価】・スポーツ活動実施率については、基準の平成15年より平成22年の数値は増えています。なお、平成24年度からの調査では、調査基準を国の調査と合わせたところ、スポーツ活動実施率の上昇がみられました。

イ 基本施策（施策の主な指標）

① スポーツをする・みる「機会」

・・・スポーツニーズに対応したスポーツ事業の充実

| 指 標 | 基準 H18 年度 | 目標 H22 年度 | 実績 H22 年度 | 達成率 | 参 考 | |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------|------------|------------|
| | | | | | H24 年度 | H25 年度 |
| 地域スポーツクラブの数 | 2 クラブ | 10 クラブ | 4 クラブ | 40.0 % | 6 クラブ | 6 クラブ |
| 市民スポーツ大会の参加チーム数 | 333 チーム | 360 チーム | 361 チーム | 100.3 % | 357 チーム | 355 チーム |

- 【評価】
- ・地域スポーツクラブの数については、基準年より増えていますが、目標には届いていません。
 - ・市民スポーツ大会の参加チーム数については、平成22年度は目標に達していますが平成24・25年度と減少傾向にあります。



② スポーツを支える「場」

・・・スポーツ施設の整備・充実

| 指 標 | 基準 H18 年度 | 目標 H22 年度 | 実績 H22 年度 | 達成率 | 参 考 | |
|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------|----------------|----------------|
| | | | | | H24 年度 | H25 年度 |
| 市のスポーツ施設の利用者数 | 1,349,238 人 | 1,400,000 人 | 1,384,902 人 | 98.9 % | 1,287,644 人 | 1,259,917 人 |
| 学校体育施設の利用者数 | 1,578,733 人 | 1,600,000 人 | 1,619,649 人 | 101.2 % | 1,607,068 人 | 1,515,353 人 |

【評価】 ・本市のスポーツ施設の利用者数は、基準年より増えていますが、平成22年3月11日の東日本大震災により休館・休場した施設が多くあったことなどから、平成22年度は目標を下回りました。また、平成24・25年度についても、東日本大震災後の影響や市体育館改修などにより、利用者数が以前の水準に達しませんでした。

・学校体育施設の利用者数は、目標に達しています。

【参考】 東日本大震災による主なスポーツ施設の休館

| 施 設 名 | 利 用 再 開 |
|---------------|---------|
| 清原球場 | 平成24年2月 |
| スケートセンター | 平成24年2月 |
| 清原体育館 | 平成24年7月 |
| 河内総合運動公園屋内プール | 平成24年7月 |



③ スポーツを支える「人」

・・・市民スポーツを支援する人材の育成

| 指 標 | 基準 H18 年度 | 目標 H22 年度 | 実績 H22 年度 | 達成率 | 参 考 | |
|------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------|----------|----------|
| | | | | | H24 年度 | H25 年度 |
| 指導者講習 会の参加者 数 | 730 人 | 870 人 | 700 人 | 80.5 % | 700 人 | 706 人 |
| スポーツ人 材バンクの 登録者数 | 541 人 | 765 人 | 863 人 | 112.8 % | 851 人 | 877 人 |

- 【評価】
- ・指導者講習会の参加者数は、実施年度により若干の増減があり、安定して増加していません。
 - ・スポーツ人材バンクの登録者数については、毎年増加し目標を達成しています。

④ スポーツをつなぐ「情報・ネットワーク」

・・・スポーツ情報やネットワーク・サポート体制の充実

| 指 標 | 基準 H18 年度 | 目標 H22 年度 | 実績 H22 年度 | 達成率 | 参 考 | |
|----------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------|-------------|-------------|
| | | | | | H24 年度 | H25 年度 |
| スポーツ情報シ ステムへのアクセ ス回数 | 0 回 | 100,000 回 | 34,845 回 | 34.8 % | 32,961 回 | 26,302 回 |

- 【評価】
- ・スポーツ情報システムについては、平成21年度にシステムを構築しましたが、アクセス回数は目標に達しませんでした。



ウ 重点施策・事業

① 地域スポーツクラブの育成

| 期 間 | 目 標 | 実施内容 |
|------------------|--------------------------|-------------------------------------|
| 前期 (H18~22年度) | 8地区にクラブ設立 (累計 10クラブ) | H22年度 累計 4クラブ |
| 後期 (H23~27年度) | 15地区にクラブ設立 (累計 25クラブ) | クラブ設立の推進 H23年度 2クラブ設立 累計 6クラブ |

【評価】・地域スポーツクラブは、平成26年3月31日現在、6クラブが設立されており、設立準備組織が2団体組織化されており、目標値には届いていませんが、着実に数を増やしています。

② スポーツ情報の提供の充実

| 期 間 | 目 標 | 実施内容 |
|------------------|--------------|---------------|
| 前期 (H18~22年度) | スポーツ人材バンクの活用 | |
| | スポーツ掲示板の新設 | スポーツ情報システムを整備 |
| | 施設予約システムの整備 | 一部施設で導入 |
| 後期 (H23~27年度) | 情報提供の充実 | U-sports の運営 |

【評価】・スポーツ人材バンクについては、市の実情にあった制度を検討する必要があります。
 ・スポーツ情報システムは、平成21年度にシステムを整備しました。
 ・予約システムについては、利用者が利用しやすいシステムを検討する必要があります。



③ 指導者の育成・確保

| 期 間 | 目 標 | 実施内容 |
|------------------|------------------|-----------------|
| 前期 (H18~22年度) | 指導者講習会の充実 | スポーツ推進委員等の講習会開催 |
| | 指導者情報の収集, 提供 | スポーツ情報システムを活用 |
| | スポーツ人材バンクの活用(再掲) | |
| 後期 (H23~27年度) | 継続 | 上記内容の充実を図る |

【評価】・指導者の育成・確保については、新たなスポーツ指導者の発掘、活用、資質の向上に努める必要があります。

④ スポーツ施設の整備・充実

| 期 間 | 目 標 | 実施内容 |
|------------------|-------------|--------------------|
| 前期 (H18~22年度) | 河内総合運動公園の整備 | 多目的運動広場の整備 |
| | 市体育館の改修 | 冷暖房の設置 |
| | 宇都宮清原球場の改修 | 照明設備改修, バリアフリー化 |
| | 市サッカー場の改修 | 人工芝の整備 |
| | スケートセンターの改修 | 観客席の設置 |
| | 宮原運動公園の改修 | 芝張替え |
| 後期 (H23~27年度) | 清原体育館の改修 | 屋根改修 |
| | 雀宮体育館の改修 | 未定 |
| | 宇都宮清原球場の改修 | トイレ洋式化 |
| | 屋板運動場庭球場の改修 | 一部改修 |

【評価】・上記目標以外にも、市体育館大規模改修(照明のLED化・エレベーター設置等)、駒生運動公園の照明塔改修、河内総合運動公園陸上競技場ティフトン芝生化などの施設整備を実施しています。

- ・スポーツ施設の整備については、スポーツ施設整備計画に基づき計画的に進める必要があります。

(2) 本市のスポーツの現状

ア スポーツに対するニーズ

- 「宇都宮市スポーツに関する市民意識調査（平成23年12月実施）」において、運動やスポーツを行った理由について聞いたところ、「健康維持・増進」が一番多く、「ストレス解消・気分転換」、「仲間との交流」と続いており、市民は、健康づくりや生きがいづくりなどのためにスポーツを実施している様子が見受けられます。逆に、運動やスポーツを行わなかった理由については、「時間がない」「機会がない」など、気軽にスポーツを行いたいが、することができない忙しい大人の現状が見受けられます。
また、少子・高齢化や情報化社会の進展に伴い、人々のライフスタイルも変化しており、スポーツに対するニーズは多様化しています。
- 宇都宮マラソン大会の参加者やジャパンカップサイクルロードレースの観戦者数は年々増加しています。また、「第5次宇都宮市総合計画」における基本施策ごとに市民の意識を調査したところ、スポーツに関する各施策とも重要度は年々上がっており、スポーツに対するニーズも高まっていると考えられます。
- 地域スポーツクラブなどで活発に活動するようになった本市小中学校の子どもたちが、保健室に行く回数が減ったなど、既存の地域スポーツクラブを対象に行った調査での結果もあり、スポーツは、子どもの体力低下の問題などに対応するとともに、青少年の心身の健全な育成や仲間づくりなどに大きな役割を果たすことが期待されています。
- 核家族化の進展や高齢者の単身世帯の増加、価値観の多様化などにより、地域社会が変化し、地域コミュニティや人間関係の希薄化が懸念されている中で、仲間との交流や家族との交流を深めるためにスポーツを行う状況も見受けられます。

○ 宇都宮マラソン大会の参加者数

| 年度 | 回数 | 参加者数 | 備考 |
|--------|------|--------|-----------------|
| 平成20年度 | 第22回 | 4,736人 | |
| 平成21年度 | 第23回 | 5,594人 | |
| 平成22年度 | 第24回 | 6,822人 | |
| 平成23年度 | 第25回 | 6,834人 | |
| 平成24年度 | 第26回 | 6,266人 | 安全確保のため、参加者数を調整 |
| 平成25年度 | 第27回 | 6,257人 | |

○ ジャパンカップサイクルロードレースの観戦者数

| 年度 | ロードレース | クリテリウム | 備考 |
|--------|---------|---------|-----------|
| 平成20年度 | 65,000人 | — | |
| 平成21年度 | 68,000人 | — | |
| 平成22年度 | 70,000人 | 30,000人 | クリテリウムの開催 |
| 平成23年度 | 73,000人 | 30,000人 | |
| 平成24年度 | 78,000人 | 38,000人 | |
| 平成25年度 | 62,000人 | 38,000人 | |



○ 基本施策の重要度（重要、やや重要と考えている人の割合）

（単位：％）

| 施 策 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 |
|--------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| スポーツ活動環境の充実 | 48.2 | 53.7 | 59.1 | 55.2 | 55.6 |
| スポーツを支える人材の育成， 団体の活性化 | 41.6 | 46.6 | 57.5 | 51.3 | 53.2 |

【市民意識調査（第5次総合計画の基本施策（政策））結果より抜粋】

○ 運動やスポーツを行った理由

| 年齢区分 理由 | 健康維持・増進 | 美容・ダイエット | 気分転換 | ストレス解消・ | 趣味・特技の向上 | 仲間との交流 | 家族との交流 | その他 | 全体 |
|------------|---------|----------|------|---------|----------|--------|--------|-----|-------|
| | 全体 | 914 | 218 | 500 | 239 | 422 | 185 | 55 | 2,533 |
| (%) | 36.1 | 8.6 | 19.7 | 9.4 | 16.7 | 7.3 | 2.2 | | |
| 20～29歳 | 67 | 30 | 53 | 40 | 57 | 11 | 5 | 263 | |
| (%) | 25.5 | 11.4 | 20.2 | 15.2 | 21.7 | 4.2 | 1.9 | | |
| 30～39歳 | 128 | 52 | 108 | 53 | 70 | 54 | 10 | 475 | |
| (%) | 26.9 | 10.9 | 22.7 | 11.2 | 14.7 | 11.4 | 2.1 | | |
| 40～49歳 | 143 | 50 | 90 | 41 | 67 | 65 | 18 | 474 | |
| (%) | 30.2 | 10.5 | 19.0 | 8.6 | 14.1 | 13.7 | 3.8 | | |
| 50～59歳 | 100 | 26 | 62 | 32 | 44 | 18 | 3 | 285 | |
| (%) | 35.1 | 9.1 | 21.8 | 11.2 | 15.4 | 6.3 | 1.1 | | |
| 60～69歳 | 322 | 48 | 122 | 54 | 110 | 31 | 11 | 698 | |
| (%) | 46.1 | 6.9 | 17.5 | 7.7 | 15.8 | 4.4 | 1.6 | | |
| 70～79歳 | 147 | 10 | 59 | 18 | 72 | 4 | 7 | 317 | |
| (%) | 46.4 | 3.2 | 18.6 | 5.7 | 22.7 | 1.3 | 2.2 | | |

※ その他の主な意見：学校の行事，地区の行事，リハビリ など

【平成23年12月「スポーツに関する市民意識調査」より】

イ 子どもの体力の低下

- 本市においても、全国的な傾向と同様に、子どもの体力低下や肥満傾向などが見受けられます。
- 平成25年度宇都宮市「元気っ子健康体力チェック」では、全国平均と比較すると、小学生男子の反復横とびが3年生から6年生まで、上体起こしは小学5・6年生が全国平均を上回っています。小学生女子は1年生から6年生まで反復横とびと上体起こしが全国平均を上回っています。また、中学生男子は1・2年生が上体起こし、3年生は長座体前屈が全国平均を上回り、中学生女子は全ての学年で上体起こしが全国平均を上回っております。
一方、総合的に見ると、小中学校全ての男女とも、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げといった、いわゆる「走」「跳」「投」と「握力」が全国平均を下回っています。
- 運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と答えた割合は、小学生で91%、中学生で84%と高い割合を示したものの、運動やスポーツを「ほとんど毎日（週に3日以上）」していると答えた割合は、小学生は31%、中学生は67%となっており、特に小学生においては、体育の時間以外で運動やスポーツをする機会が少なくなっています。
- 平成22年度に実施した「市政世論調査」では、子どもの体力を向上させるために必要であることとして、「安心して遊べる場所の確保」（63.6%）や「体育の授業や部活動の充実」（47.6%）「地域のスポーツクラブ（スポーツ少年団を含む）やサークルの支援」（32.8%）など、学校と地域社会が一緒になって体力向上に取り組むことを期待しています。



【平成25年度 宇都宮市「元気っ子健康体力チェック集計結果」】

【小学校 男子】 ▼は全国平均を下回るもの

※全国の前平均値は、「平成23年度 体力・運動能力調査報告書」による。
 ※県の前平均値は、「平成24年度 新体力テスト実施調査報告書」による。

| 学年 | 区分 | 握力 (kg) | 上体起こし (回) | 長座体前屈 (cm) | 反復横とび (点) | 20m シャトルラン (回) | 50m走 (秒) | 立ち幅跳び (cm) | ソフトボール投げ (m) | 体力合計点 |
|----|----|---------|-----------|------------|-----------|----------------|----------|------------|--------------|---------|
| 1年 | 全国 | 9.41 | 11.33 | 25.86 | 27.58 | 18.22 | 11.53 | 115.33 | 8.81 | 30.67 |
| | 県 | 9.29 | 11.56 | 24.42 | 27.02 | 17.82 | 11.79 | 110.10 | 8.17 | 29.24 |
| | 市 | ▼ 9.13 | ▼ 11.29 | ▼ 25.37 | ▼ 27.57 | ▼ 18.07 | ▼ 11.60 | ▼ 112.10 | ▼ 7.98 | ▼ 29.90 |
| 2年 | 全国 | 11.11 | 14.29 | 27.42 | 31.35 | 28.84 | 10.68 | 126.79 | 13.09 | 38.13 |
| | 県 | 10.95 | 14.35 | 26.61 | 31.20 | 26.68 | 10.84 | 124.20 | 11.69 | 36.86 |
| | 市 | ▼ 10.71 | ▼ 13.85 | ▼ 26.14 | ▼ 31.31 | ▼ 26.08 | ▼ 10.76 | ▼ 122.46 | ▼ 11.27 | ▼ 36.56 |
| 3年 | 全国 | 12.98 | 16.10 | 29.04 | 35.23 | 37.54 | 10.12 | 136.14 | 16.67 | 44.00 |
| | 県 | 12.62 | 15.82 | 27.10 | 34.45 | 33.82 | 10.35 | 132.69 | 14.94 | 41.76 |
| | 市 | ▼ 12.75 | ▼ 15.85 | ▼ 27.86 | 35.38 | ▼ 35.29 | ▼ 10.20 | ▼ 134.10 | ▼ 14.99 | ▼ 42.98 |
| 4年 | 全国 | 14.84 | 18.39 | 31.17 | 39.12 | 46.83 | 9.56 | 147.14 | 21.54 | 50.68 |
| | 県 | 14.80 | 17.79 | 29.72 | 38.71 | 43.60 | 9.79 | 141.90 | 18.63 | 48.20 |
| | 市 | ▼ 14.46 | ▼ 18.22 | ▼ 29.88 | 39.35 | ▼ 42.88 | ▼ 9.76 | ▼ 142.47 | ▼ 18.90 | ▼ 48.92 |
| 5年 | 全国 | 17.03 | 19.68 | 33.20 | 42.29 | 54.40 | 9.28 | 154.54 | 25.48 | 55.55 |
| | 県 | 16.68 | 20.08 | 32.01 | 42.60 | 51.40 | 9.48 | 150.49 | 22.61 | 53.81 |
| | 市 | ▼ 16.66 | 19.96 | ▼ 31.85 | 43.34 | ▼ 52.41 | ▼ 9.35 | ▼ 151.76 | ▼ 22.22 | ▼ 54.70 |
| 6年 | 全国 | 19.90 | 21.73 | 34.96 | 45.76 | 62.07 | 8.88 | 164.59 | 29.66 | 61.01 |
| | 県 | 20.01 | 21.64 | 33.86 | 45.76 | 61.05 | 9.02 | 162.16 | 27.38 | 59.92 |
| | 市 | ▼ 19.44 | 22.09 | ▼ 34.56 | 46.28 | ▼ 61.05 | ▼ 8.97 | ▼ 162.99 | ▼ 25.87 | ▼ 60.52 |

【小学校 女子】 ▼は全国平均を下回るもの

| 学年 | 区分 | 握力 (kg) | 上体起こし (回) | 長座体前屈 (cm) | 反復横とび (点) | 20m シャトルラン (回) | 50m走 (秒) | 立ち幅跳び (cm) | ソフトボール投げ (m) | 体力合計点 |
|----|----|---------|-----------|------------|-----------|----------------|----------|------------|--------------|---------|
| 1年 | 全国 | 8.81 | 10.83 | 27.92 | 26.44 | 15.42 | 11.88 | 106.77 | 5.80 | 30.33 |
| | 県 | 8.70 | 11.16 | 27.16 | 26.50 | 15.24 | 11.92 | 104.10 | 5.66 | 29.85 |
| | 市 | ▼ 8.49 | 10.88 | ▼ 27.59 | 26.55 | ▼ 15.34 | ▼ 11.91 | ▼ 104.47 | ▼ 5.36 | ▼ 29.71 |
| 2年 | 全国 | 10.34 | 13.30 | 29.69 | 29.62 | 22.08 | 10.98 | 118.84 | 7.91 | 37.69 |
| | 県 | 10.40 | 13.65 | 30.13 | 29.99 | 21.22 | 11.08 | 117.18 | 7.76 | 37.77 |
| | 市 | ▼ 10.05 | 13.55 | ▼ 29.07 | 30.08 | ▼ 20.37 | ▼ 11.06 | ▼ 115.42 | ▼ 7.19 | ▼ 36.86 |
| 3年 | 全国 | 12.18 | 15.00 | 31.93 | 33.27 | 27.40 | 10.39 | 127.23 | 9.88 | 43.87 |
| | 県 | 11.95 | 15.33 | 30.80 | 33.38 | 26.44 | 10.57 | 127.10 | 9.66 | 43.19 |
| | 市 | ▼ 12.02 | 15.05 | ▼ 31.59 | 33.70 | ▼ 26.04 | ▼ 10.50 | ▼ 125.55 | ▼ 9.21 | ▼ 43.16 |
| 4年 | 全国 | 14.13 | 16.61 | 34.04 | 36.88 | 34.96 | 9.89 | 138.05 | 12.37 | 50.25 |
| | 県 | 14.16 | 16.94 | 33.01 | 36.68 | 33.05 | 10.13 | 135.13 | 11.67 | 48.96 |
| | 市 | ▼ 13.73 | 17.23 | ▼ 33.91 | 37.61 | ▼ 32.68 | ▼ 10.05 | ▼ 134.92 | ▼ 11.70 | ▼ 49.61 |
| 5年 | 全国 | 16.55 | 18.37 | 37.08 | 40.24 | 41.97 | 9.53 | 146.19 | 14.75 | 56.08 |
| | 県 | 16.45 | 18.77 | 36.20 | 40.03 | 40.23 | 9.74 | 144.47 | 14.57 | 55.26 |
| | 市 | ▼ 16.44 | 18.83 | ▼ 36.51 | 41.21 | ▼ 40.00 | ▼ 9.65 | ▼ 144.36 | ▼ 13.60 | ▼ 55.62 |
| 6年 | 全国 | 19.72 | 19.79 | 39.85 | 42.98 | 48.80 | 9.18 | 155.77 | 17.54 | 61.59 |
| | 県 | 19.60 | 20.24 | 39.51 | 42.67 | 47.93 | 9.28 | 154.34 | 16.72 | 61.13 |
| | 市 | ▼ 19.27 | 19.94 | ▼ 39.68 | 43.54 | ▼ 47.42 | ▼ 9.28 | ▼ 153.53 | ▼ 15.50 | ▼ 61.11 |

【中学校 男子】

| 学年 | 区分 | 握力 (kg) | 上体 起こし (回) | 長座 体前屈 (cm) | 反復 横とび (点) | 20m シャトルラン (回) | 50m走 (秒) | 立ち 幅跳び (cm) | ハンドボール 投げ (m) | 体力 合計点 |
|----|----|------------|------------------|-------------------|------------------|----------------------|-------------|-------------------|---------------------|-----------|
| 1年 | 全国 | 24.97 | 24.48 | 39.75 | 49.71 | 72.63 | 8.44 | 182.75 | 19.39 | 35.79 |
| | 県 | 23.66 | 23.43 | 37.13 | 48.69 | 67.99 | 8.68 | 175.50 | 17.10 | 32.31 |
| | 市 | ▼ 23.48 | 24.48 | ▼ 38.80 | ▼ 48.93 | ▼ 67.69 | ▼ 8.64 | ▼ 176.35 | ▼ 17.19 | ▼ 33.40 |
| 2年 | 全国 | 30.58 | 27.80 | 44.58 | 52.92 | 90.02 | 7.83 | 201.20 | 22.08 | 44.57 |
| | 県 | 29.34 | 27.21 | 42.12 | 52.40 | 87.46 | 8.03 | 194.51 | 19.28 | 41.59 |
| | 市 | ▼ 28.88 | 27.97 | ▼ 43.59 | ▼ 52.58 | ▼ 85.76 | ▼ 7.98 | ▼ 195.42 | ▼ 19.83 | ▼ 42.81 |
| 3年 | 全国 | 35.68 | 30.23 | 48.00 | 55.65 | 96.22 | 7.47 | 214.53 | 24.88 | 51.41 |
| | 県 | 34.50 | 28.92 | 45.83 | 55.09 | 94.30 | 7.64 | 208.28 | 21.69 | 47.95 |
| | 市 | ▼ 34.70 | ▼ 30.15 | 48.02 | 56.05 | ▼ 93.56 | ▼ 7.53 | ▼ 211.95 | ▼ 22.74 | ▼ 50.99 |

【中学校 女子】

| 学年 | 区分 | 握力 (kg) | 上体 起こし (回) | 長座 体前屈 (cm) | 反復 横とび (点) | 20m シャトルラン (回) | 50m走 (秒) | 立ち 幅跳び (cm) | ハンドボール 投げ (m) | 体力 合計点 |
|----|----|------------|------------------|-------------------|------------------|----------------------|-------------|-------------------|---------------------|-----------|
| 1年 | 全国 | 22.07 | 21.07 | 43.02 | 45.10 | 53.65 | 8.98 | 166.59 | 12.61 | 45.81 |
| | 県 | 21.56 | 20.56 | 41.17 | 44.68 | 49.72 | 9.19 | 162.46 | 11.16 | 42.80 |
| | 市 | ▼ 21.68 | 21.22 | ▼ 41.89 | ▼ 44.52 | ▼ 48.24 | ▼ 9.23 | ▼ 162.02 | ▼ 11.33 | ▼ 43.23 |
| 2年 | 全国 | 24.14 | 23.23 | 45.79 | 47.01 | 62.21 | 8.72 | 172.13 | 14.01 | 51.39 |
| | 県 | 24.37 | 23.21 | 44.15 | 46.54 | 61.06 | 8.85 | 169.53 | 12.69 | 49.46 |
| | 市 | ▼ 23.89 | 23.87 | ▼ 45.52 | ▼ 46.27 | ▼ 58.06 | ▼ 8.86 | ▼ 169.53 | ▼ 12.48 | ▼ 49.58 |
| 3年 | 全国 | 25.96 | 24.55 | 47.49 | 47.97 | 60.66 | 8.67 | 175.40 | 15.02 | 53.89 |
| | 県 | 25.33 | 24.30 | 45.20 | 47.45 | 60.58 | 8.85 | 170.27 | 13.30 | 51.04 |
| | 市 | ▼ 25.64 | 25.17 | 47.79 | ▼ 47.65 | ▼ 59.05 | ▼ 8.79 | ▼ 174.47 | ▼ 13.51 | ▼ 53.05 |

【問】運動やスポーツをすることは好きですか。

<小学生>

| 性別 ・学年 | | ① 好き | | ② やや好き | | ③ やや嫌い | | ④ 嫌い | | 無回答 | |
|-----------|-----|---------|----|-----------|----|-----------|----|---------|---|-----|---|
| | | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % |
| 男子 | 1年生 | 1,708 | 71 | 532 | 22 | 116 | 5 | 28 | 1 | 10 | 0 |
| | 2年生 | 1,781 | 73 | 510 | 21 | 97 | 4 | 35 | 1 | 22 | 1 |
| | 3年生 | 1,815 | 75 | 476 | 20 | 82 | 3 | 46 | 2 | 10 | 0 |
| | 4年生 | 1,791 | 74 | 464 | 19 | 99 | 4 | 39 | 2 | 15 | 1 |
| | 5年生 | 1,747 | 73 | 486 | 20 | 112 | 5 | 41 | 2 | 18 | 1 |
| | 6年生 | 1,651 | 71 | 492 | 21 | 129 | 6 | 45 | 2 | 18 | 1 |
| | 全体 | 10,493 | 73 | 2,964 | 21 | 635 | 4 | 234 | 2 | 93 | 1 |
| 女子 | 1年生 | 1,576 | 67 | 604 | 26 | 133 | 6 | 36 | 2 | 10 | 0 |
| | 2年生 | 1,451 | 66 | 594 | 27 | 101 | 5 | 39 | 2 | 18 | 1 |
| | 3年生 | 1,399 | 61 | 679 | 30 | 142 | 6 | 63 | 3 | 7 | 0 |
| | 4年生 | 1,300 | 59 | 677 | 31 | 160 | 7 | 65 | 3 | 12 | 1 |
| | 5年生 | 1,207 | 53 | 767 | 34 | 222 | 10 | 75 | 3 | 10 | 0 |
| | 6年生 | 1,182 | 50 | 779 | 33 | 300 | 13 | 82 | 3 | 11 | 0 |
| | 全体 | 8,115 | 59 | 4,100 | 30 | 1,058 | 8 | 360 | 3 | 68 | 0 |
| 合計 | | 18,608 | 66 | 7,064 | 25 | 1,693 | 6 | 594 | 2 | 161 | 1 |

<中学生>

| 性別 ・学年 | | ① 好き | | ② やや好き | | ③ やや嫌い | | ④ 嫌い | | 無回答 | |
|-----------|-----|---------|----|-----------|----|-----------|----|---------|---|-----|---|
| | | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % |
| 男子 | 1年生 | 1,530 | 68 | 522 | 23 | 123 | 5 | 54 | 2 | 31 | 1 |
| | 2年生 | 1,307 | 62 | 562 | 27 | 147 | 7 | 53 | 3 | 29 | 1 |
| | 3年生 | 1,302 | 60 | 601 | 28 | 151 | 7 | 74 | 3 | 41 | 2 |
| | 全体 | 4,139 | 63 | 1,685 | 26 | 421 | 6 | 181 | 3 | 101 | 2 |
| 女子 | 1年生 | 958 | 45 | 758 | 35 | 308 | 14 | 106 | 5 | 22 | 1 |
| | 2年生 | 850 | 43 | 697 | 35 | 291 | 15 | 109 | 6 | 24 | 1 |
| | 3年生 | 857 | 43 | 666 | 33 | 329 | 16 | 110 | 5 | 42 | 2 |
| | 全体 | 2,665 | 43 | 2,121 | 35 | 928 | 15 | 325 | 5 | 88 | 1 |
| 合計 | | 6,804 | 54 | 3,806 | 30 | 1,349 | 11 | 506 | 4 | 189 | 1 |

【問】運動やスポーツをどのくらいしていますか。(学校の体育の授業をのぞきます)

<小学生>

| 学年 性別・ | 項目 | ①ほとんど毎日 (週に3日以上) | | ②時々(週に1~2日くらい) | | ③たまに(月に1~3日くらい) | | ④しない | | 無回答 | |
|-----------|-------|---------------------|--------|----------------|-------|-----------------|-------|-------|-----|-----|---|
| | | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % |
| 男子 | 1年生 | 399 | 17 | 1,398 | 58 | 379 | 16 | 207 | 9 | 11 | 0 |
| | 2年生 | 667 | 27 | 1,334 | 55 | 285 | 12 | 139 | 6 | 20 | 1 |
| | 3年生 | 898 | 37 | 1,032 | 42 | 298 | 12 | 190 | 8 | 11 | 0 |
| | 4年生 | 1,147 | 48 | 840 | 35 | 272 | 11 | 134 | 6 | 15 | 1 |
| | 5年生 | 1,265 | 53 | 794 | 33 | 229 | 10 | 99 | 4 | 17 | 1 |
| | 6年生 | 1,194 | 51 | 801 | 34 | 229 | 10 | 95 | 4 | 20 | 1 |
| | 全体 | 5,570 | 39 | 6,199 | 43 | 1,692 | 12 | 864 | 6 | 94 | 1 |
| 女子 | 1年生 | 254 | 11 | 1,263 | 54 | 530 | 22 | 302 | 13 | 10 | 0 |
| | 2年生 | 335 | 15 | 1,223 | 56 | 417 | 19 | 211 | 10 | 17 | 1 |
| | 3年生 | 510 | 22 | 1,154 | 50 | 394 | 17 | 226 | 10 | 6 | 0 |
| | 4年生 | 622 | 28 | 1,058 | 49 | 366 | 17 | 129 | 6 | 12 | 1 |
| | 5年生 | 676 | 30 | 1,088 | 48 | 394 | 17 | 113 | 5 | 10 | 0 |
| | 6年生 | 635 | 27 | 1,085 | 46 | 472 | 20 | 150 | 6 | 12 | 1 |
| | 全体 | 3,032 | 22 | 6,898 | 50 | 2,573 | 19 | 1,131 | 8 | 67 | 0 |
| 合計 | 8,602 | 31 | 13,097 | 47 | 4,265 | 15 | 1,995 | 7 | 161 | 0 | |



<中学生>

| 学年・性別 | 項目 | ①ほとんど毎日 (週に3日以上) | | ②時々(週に1~2日くらい) | | ③たまに(月に1~3日くらい) | | ④しない | | 無回答 | |
|-------|-----|---------------------|----|----------------|----|-----------------|----|------|----|-----|---|
| | | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | % |
| 男子 | 1年生 | 1,728 | 76 | 281 | 12 | 149 | 7 | 69* | 3 | 33 | 1 |
| | 2年生 | 1,693 | 81 | 177 | 8 | 131 | 6 | 65 | 3 | 32 | 2 |
| | 3年生 | 1,684 | 78 | 218 | 10 | 145 | 7 | 80 | 4 | 42 | 2 |
| | 全体 | 5,105 | 78 | 676 | 10 | 425 | 7 | 214 | 3 | 107 | 2 |
| 女子 | 1年生 | 1,200 | 56 | 449 | 21 | 358 | 17 | 121 | 6 | 24 | 1 |
| | 2年生 | 1,155 | 59 | 287 | 15 | 342 | 17 | 164 | 8 | 23 | 1 |
| | 3年生 | 1,056 | 53 | 296 | 15 | 409 | 20 | 200 | 10 | 43 | 2 |
| | 全体 | 3,411 | 56 | 1,032 | 17 | 1,109 | 18 | 485 | 8 | 90 | 1 |
| 合計 | | 8,516 | 67 | 1,708 | 13 | 1,534 | 12 | 699 | 6 | 197 | 2 |

ウ 高齢者のスポーツ活動の進展

- 本市においても、今後、少子・高齢化は急速に進展し、65歳以上の人口が4人に1人以上となる超高齢社会を間もなく迎えることが予測されています。
- 「第46回世論調査(平成25年7月実施)」によりますと、60歳・70歳以上の高齢者の週1回以上のスポーツ活動実施率は、他の年代より高くなっており、健康の維持増進や仲間との交流や、生きがいづくりなど、スポーツの果たす役割は一層大きくなってきています。
- 一方で、70歳以上の高齢者のうち、1年間にスポーツをしない人の割合は19%と、他の年代と比較すると低い傾向にありますが、運動をしない理由は「高齢のため」や「体調がすぐれない」などが挙げられています。
- 平成22年度に実施した「市政世論調査」では、スポーツ振興における行政への期待として、「年齢にあったスポーツの普及」(43.7%)、の割合が高く、子どもはもとより、高齢者でも年代にあわせてたきめ細やかなスポーツの普及が求められています。

【問】この1年間に運動やスポーツを行った日数はどのくらいですか。

(単位：人)

| 年齢区分 | 日数 | 週に3日以上 | 週に1～2日 | 月に1～3日 | 3か月に1～3日 | 年に1～3日 | しない | 全体 |
|--------|----|--------|--------|--------|----------|--------|------|-----|
| 全体 | | 96 | 78 | 47 | 12 | 14 | 90 | 337 |
| (%) | | 28.5 | 23.1 | 13.9 | 3.6 | 4.2 | 26.7 | |
| 20～29歳 | | 2 | 10 | 6 | 1 | 3 | 7 | 29 |
| (%) | | 6.9 | 34.5 | 20.7 | 3.6 | 10.4 | 24.1 | |
| 30～39歳 | | 9 | 8 | 8 | 4 | 2 | 17 | 48 |
| (%) | | 18.8 | 16.7 | 16.7 | 8.3 | 4.1 | 35.4 | |
| 40～49歳 | | 9 | 11 | 6 | 3 | 2 | 14 | 45 |
| (%) | | 20.0 | 24.5 | 13.3 | 6.7 | 4.4 | 31.1 | |
| 50～59歳 | | 18 | 12 | 9 | 2 | 5 | 16 | 62 |
| (%) | | 29.0 | 19.4 | 14.5 | 3.2 | 8.1 | 25.8 | |
| 60～69歳 | | 28 | 21 | 14 | 1 | 2 | 24 | 90 |
| (%) | | 31.1 | 23.3 | 15.6 | 1.1 | 2.2 | 26.7 | |
| 70～79歳 | | 30 | 16 | 4 | 1 | 0 | 12 | 63 |
| (%) | | 47.6 | 25.4 | 6.4 | 1.6 | 0 | 19.0 | |

【第46回（平成25年）世論調査「スポーツへの参加状況について」より】

エ 観るスポーツの活用

- 本市では、アジア最高位の自転車ロードレース「ジャパンカップサイクルロードレース」や、プロ野球の公式戦、プロスポーツチームの試合など、トップレベルの試合を間近に観戦することができます。
- ジャパンカップサイクルロードレースでは、中心市街地の公道上で開催される「クリテリウム」と、山間部での「ロードレース」を合わせて、県内・国内のみならず、海外からも10万人を超える観客を集め、「自転車のまち宇都宮」が定着しつつあります。
- 今後は、こうした観るスポーツを活用した、さらなるまちづくりの推進や地域の活性化などに期待が寄せられています。

オ プロスポーツチームの支援と連携

- 本市には、栃木SC（サッカー）、リンク栃木ブレックス（バスケットボール）、宇都宮ブリッツエン（自転車ロードレース）の3つのプロスポーツチームがあります。また、県内には、HC栃木日光アイスバックス（アイスホッケー）もあります。
- 本市では、チーム名をスポーツ施設の愛称に冠するというチーム支援事業や、施設の優先予約、市広報紙への掲載などを実施し、プロスポーツチームへの支援に取り組んでいます。
- 今後は、こうしたプロスポーツチームが、スポーツ活動の推進はもとより、本市の都市ブランドや観光資源として、県内・国内にさらに認知され、本市の魅力の向上に寄与することが期待されています。

カ スポーツ施設の整備

- 本市のスポーツ施設は、昭和50年代に整備された施設が多く、全体的に老朽化が進んでいます。
- 県の総合スポーツゾーン整備計画により、新たなスポーツ施設の設置や現状の施設の廃止などが見込まれることから、本市全域のスポーツ施設の配置の変化への対応や、地域の特性に応じた施設の整備を検討することが望まれています。
- 市体育館には冷暖房設備が設置されましたが、その他の体育館には空調設備は設置されておらず、トイレの洋式化なども含め、利用者が快適な環境でスポーツが楽しめるような利便施設の整備が必要な施設があります。また、高齢者や障がい者など、誰もがスポーツを楽しむための施設のバリアフリー化についても、これからの整備が必要な施設があります。
- 東日本大震災により、本市のスポーツ施設は大きな被害を受け、避難所として指定されている体育館についても、天井板が落下するなど甚大な被害が生じました。今後は、施設の安全かつ安定的な運営を図る意味でも、防災対策と機能の向上が必要な施設があります。

- 公共スポーツ施設の利用者数は、全体的に横ばい傾向にあります
が、これは必ずしもスポーツ活動の取組が低下しているというわけ
ではなく、民間のスポーツ施設の環境整備が進み、それらを利用し
ている人が多くなっていることが一因と考えられます。また、ジョ
ギングやウォーキングなどスポーツ施設を使用しなくても実施でき
るスポーツも盛んに行われています。

【種目別公共スポーツ施設の利用者数】

(単位：人)

| 平成 年度 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
|----------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|-----------|
| 体育館 | 567,191 | 556,598 | 525,557 | 343,358 | 499,649 | 419,216 |
| 野球場 | 275,401 | 295,937 | 269,434 | 104,763 | 250,871 | 255,764 |
| サッカー場 | 109,435 | 111,084 | 108,984 | 120,805 | 119,164 | 120,924 |
| 庭球場 | 118,582 | 123,155 | 117,275 | 117,798 | 116,794 | 116,387 |
| ソフトボール場 | 80,699 | 37,117 | 30,741 | 33,621 | 40,577 | 36,462 |
| プール | 194,524 | 182,126 | 201,242 | 54,167 | 126,634 | 159,421 |
| スケートセンター | 90,238 | 93,522 | 83,890 | 31,947 | 89,529 | 104,176 |
| 弓道場 | 18,763 | 19,065 | 18,938 | 22,610 | 21,915 | 21,963 |
| 陸上競技場 | 5,027 | 5,124 | 5,795 | 8,522 | 5,771 | 7,577 |
| その他 | 26,188 | 24,732 | 23,946 | 17,014 | 16,740 | 18,009 |
| 合計 | 1,486,048 | 1,448,460 | 1,384,902 | 854,605 | 1,287,644 | 1,259,899 |

※ 平成22・23年度については、東日本大震災の影響により、休場・休館した施設があることから、利用者数が減少しています。

また、平成25年度は市体育館大規模改修工事に伴い、休館となったため、利用者が減少しました。



【問】運動やスポーツを主にどのような場所で行いましたか。(あてはまるもの
2つまで選択可)

(単位：人)

| 年齢区分 | 項目 | 公共のスポーツ施設 (学校以外) | 学校の体育館や校庭 | 民間のスポーツ施設 | 公園・広場 | 路上・駐車場 | 自宅 | その他 | 全体 |
|---------|-----|---------------------|-----------|-----------|-------|--------|------|-----|-------|
| 全 体 | | 387 | 190 | 547 | 420 | 399 | 196 | 144 | 2,283 |
| | (%) | 17.0 | 8.3 | 24.0 | 18.4 | 17.5 | 8.6 | 6.3 | |
| 20~29 歳 | | 46 | 38 | 57 | 39 | 38 | 17 | 13 | 248 |
| | (%) | 18.5 | 15.3 | 23.0 | 15.7 | 15.3 | 6.9 | 5.2 | |
| 30~39 歳 | | 76 | 47 | 109 | 76 | 70 | 29 | 23 | 430 |
| | (%) | 17.7 | 10.9 | 25.3 | 17.7 | 16.3 | 6.7 | 5.3 | |
| 40~49 歳 | | 75 | 48 | 117 | 65 | 83 | 47 | 20 | 455 |
| | (%) | 16.5 | 10.5 | 25.7 | 14.3 | 18.2 | 10.3 | 4.4 | |
| 50~59 歳 | | 51 | 20 | 61 | 34 | 43 | 21 | 9 | 239 |
| | (%) | 21.3 | 8.4 | 25.5 | 14.2 | 18.0 | 8.8 | 3.8 | |
| 60~69 歳 | | 90 | 23 | 146 | 138 | 121 | 50 | 53 | 621 |
| | (%) | 14.5 | 3.7 | 23.5 | 22.2 | 19.5 | 8.1 | 8.5 | |
| 70~79 歳 | | 47 | 13 | 54 | 65 | 41 | 29 | 25 | 274 |
| | (%) | 17.2 | 4.7 | 19.7 | 23.7 | 15.0 | 10.6 | 9.1 | |

※ その他の主な意見：ゴルフ場、山、会社、公民館 など

【平成23年12月「スポーツに関する市民意識調査」より】



キ スポーツ指導者の育成・活用

- スポーツを支える人材を育成するため、スポーツ推進委員や少年スポーツ指導員を対象とした研修会や講習会等の開催を通して、スポーツ指導者の育成に努めています。
- 本市には、多くの指導者がいますが、指導者の活用が限定的であることから、さらなる活躍を求める声があがっています。

ク スポーツ情報の提供

- 市広報紙や市ホームページなどでスポーツに関する情報を掲載するとともに、スポーツ施設の指定管理者である、公益財団法人宇都宮市スポーツ振興財団のホームページにおいては、施設やスポーツ教室などの情報を発信しています。
- 平成21年度には、スポーツ情報システム（スポーツに関する総合的なホームページ「U-Sports」）を構築し、スポーツ情報の提供を実施しています。



(3) 導き出された課題

本章において、これまでに確認してきた「社会環境の変化」や「国・県の動向」、「市スポーツ振興基本計画の進捗状況」、「市民意識調査」、また、「本市の現状」などを踏まえ、導き出された本市のスポーツ推進にかかる課題とその対応について、以下のようにまとめました。

●課題1 スポーツニーズの変化への対応

【課題】

社会・経済状況の変化などにより、人々の行動や意識が大きく変化していることに伴い、スポーツの果たす役割や効果への期待が高まっており、こうしたスポーツニーズの高まりや変化に対応する必要があります。

また、体力は、人が活動するために必要不可欠なものであり、筋力などの運動能力だけでなく、精神面にも深くかかわっていることから、長期的に低下している子どもの体力を向上させることが求められています。

【求められているもの】

- ① スポーツを生活の中に取り入れることを推進する。
- ② 市民のそれぞれのライフステージにおける様々なスポーツニーズに対応した取組を推進する。
- ③ スポーツを楽しむ人を増やすことにより、競技スポーツへの参加者を増やすとともに、指導者による専門的な競技指導などにより、競技力の向上につなげていく。
- ④ 障がい者のスポーツに対する意欲も高まっており、また、障がい者の取り組むスポーツ競技も広がりを見せていることから、障がい者スポーツの推進を図る。
- ⑤ 地元プロスポーツのみならず、プロ野球をはじめとした国内トップレベルのスポーツ競技を観戦することで、市民が、スポーツに取り組む意欲を持つことができるよう、観るスポーツの推進を図る。
- ⑥ トップレベルの競技を観たり、トップレベルの競技者から学ぶなど、“触れる”ことにより、スポーツを始めるきっかけづくりともなることから、地元プロスポーツの支援を行っていく。
- ⑦ 子どもが日常的に運動に慣れ親しむことができるよう、学校だけでなく、家庭や地域が一体となってスポーツに親しむ環境を整える。

●課題2 地域スポーツの推進

【課題】

市民の、だれもが、いつでも、いつまでも、スポーツを楽しむことができるようにするためには、身近な場所でスポーツに取り組める「場」を確保するとともに、指導者や団体などを育成するなど、地域スポーツを推進する必要があります。

【求められているもの】

- ① スポーツ活動を支える指導者を確保するとともに、多様化するスポーツニーズに対応できる指導者を育成する。
- ② 体育協会やスポーツ少年団、競技団体など、各種スポーツ団体の育成・支援に努める。
- ③ 地域の特性や実情にあった地域スポーツクラブの設立・育成を進める。
- ④ 市民に身近な施設である、学校体育施設の開放を更に促進するとともに、高校や大学、民間企業等との連携を図る。



●課題3 スポーツ施設の計画的な整備

【課題】

市民のスポーツ活動の「場」であるスポーツ施設は、整備後20年以上経過している施設が多く、全体的に老朽化しているとともに、利便施設やバリアフリー化も十分ではありません。また、東日本大震災により大きな被害を受けた施設も多くあることから、安全性の確保も含め、スポーツ施設を計画的に整備する必要があります。

さらに、市全体のスポーツ施設の設配置が変化しているため、その配置の変化へ対応する必要があること、施設だけでなく気軽にスポーツを楽しむ環境を整える必要があることなどが求められています。

【求められているもの】

- ① 「スポーツ施設整備計画」に基づき、施設の種類と集中や適正な配置状況を検討しながら、計画的な整備・改修を進める。また、ウォーキングコースや運動広場など、誰もが気軽にスポーツを楽しむ場を整えるとともに、スポーツニーズに対応した施設整備について検討していく。
- ② 体育館への冷暖房設備の設置やトイレの洋式化など、利便施設を整備するとともに、子どもから高齢者、障がい者まで、誰もがスポーツを楽しめるよう、施設のバリアフリー化を進める。
- ③ 施設の安全性の確保を図るとともに、災害時の拠点施設としての防災機能を充実していく。
- ④ 誰もが利用しやすい施設となるよう、効果的・効率的な管理運営を行う。
- ⑤ 県総合スポーツゾーン整備などにより、新たなスポーツ施設の整備や廃止が見込まれるため、本市のスポーツ施設のみでなく、市全域のスポーツ施設の適正配置や効果的・効率的な施設の更新について対応していく。

●課題4 スポーツ情報提供の充実

【課題】

市民がスポーツを始めるきっかけや動機付けとなり、さらにスポーツを続けていけるよう、スポーツに関する各種情報を迅速に、わかりやすく、かつ容易に入手できるよう、スポーツ情報提供を充実する必要があります。

【求められているもの】

- ① スポーツに関する総合的なホームページ（U-Sports）は有効なツールであることから、音声や映像の活用など、積極的な活用策を検討する。
- ② 本市出身選手や本市にゆかりのあるトップレベルのスポーツ選手の情報を積極的に発信し、市民のスポーツに対する興味・関心等を高めていく。
- ③ 市民の一体感の醸成や青少年の健全な育成にも寄与することから、引き続きプロスポーツチームを支援する。また、観るスポーツの情報を発信することにより、まちづくりの推進や地域の活性化などを図るとともに、本市の都市ブランドや観光資源としての活用について検討する。



第4章 スポーツ推進の基本的な考え方

1 基本理念

- 生涯を通じて、自分にあったスポーツを楽しむことは、心身の健全な発達をはじめとして様々な意義があります。例えば、スポーツを通じ、「ルールを守り、仲間との関係を深める意識の習得」や「健康や体力の保持増進」を図ることなどがあげられます。これは、「宮っこ未来ビジョン」の目標である『「心豊かで」「たくましく生きる」人づくり』にも大いに寄与し、体力、知力、感性、対人関係力などを総合した「人間力」の向上につながるものです。

そして、スポーツによって培われた「心」や「体」の力を存分に発揮し、一人ひとりが、幸福で活力ある人生を実現できるようになることが期待できます。

- スポーツ基本法の前文には、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」と明記されており、このような社会を実現するためにも、国のスポーツ基本計画にあるように市民一人ひとりが、『「するスポーツ」、「みるスポーツ」、「支えるスポーツ」』など、様々なスポーツ活動に、自主的・主体的に関わっていくことが重要であると言えます。

- 本市では、スポーツをすること自体が喜びや楽しさをもたらす活動であるということを念頭に置き、それぞれの年齢や健康状態、技術、興味、目的に応じて、幼児から高齢者まで、市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境の実現を目指して、

「だれもが、いつでも、いつまでも、

スポーツを楽しむ生涯スポーツ社会の実現」

を基本理念とします。

【基本理念】

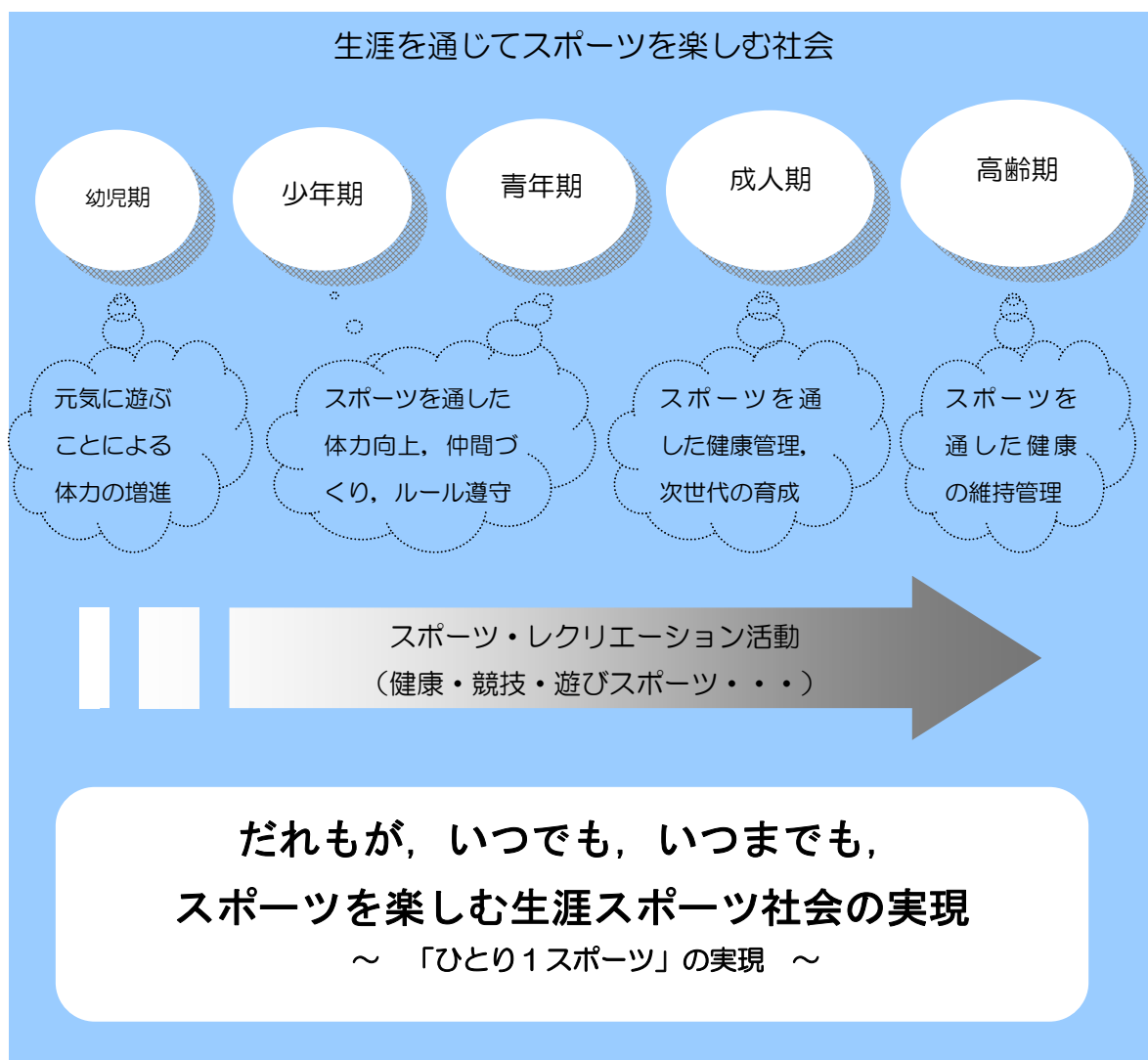
だれもが、いつでも、いつまでも、
スポーツを楽しむ生涯スポーツ社会の実現
～ 「ひとり1スポーツ」の実現 ～

- ◇「だれもが」 幼児から高齢者まで、男性も女性も、
障がいのある方もない方も、
どんな競技レベルの人も（※）
- ◇「いつでも」 思い立ったときに、時間があいたときに
- ◇「いつまでも」 それぞれのライフステージに応じて、生涯にわたり

※ 44ページ「スポーツ活動者の6つの層」を参照



■基本理念イメージ

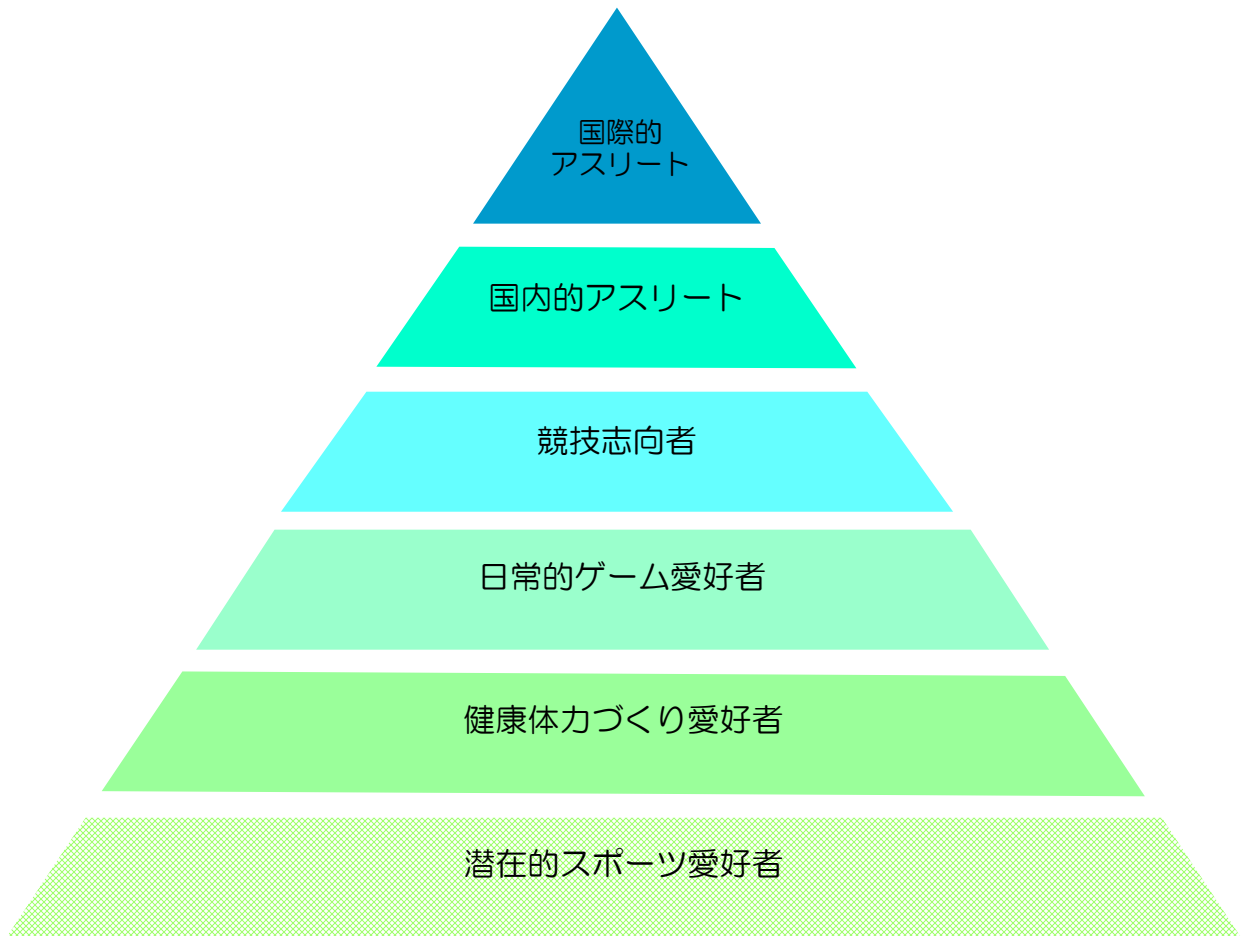


2 基本目標

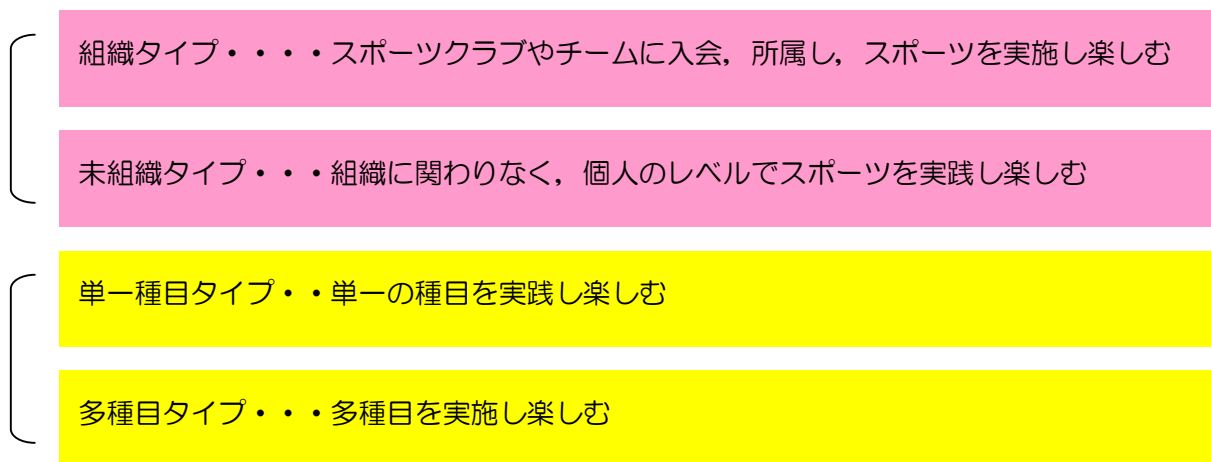
本市の基本理念である「スポーツを楽しむ生涯スポーツ社会の実現」に向けて、「スポーツ人口の拡大」という目標を掲げて取り組んでいく必要があることから、目標年次である平成36年度において「20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率を75.0%（4人に3人）にすること」を本計画の基本目標とします。

※ **指標** 20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率
平成25年度(実績)：51.6% ⇒ 平成36年度(目標)：75.0%
(4人に3人)

■スポーツ活動者の6つの層



■スポーツ活動者のタイプ



※「21世紀の国民スポーツ振興方策」 公益財団法人 日本体育協会を元に作成

第5章 スポーツ推進のための施策・事業

1 施策・事業の推進により目指すもの

- これまでの各章における検討を通じ、社会・経済状況が変化し、人々の価値観が多様化している状況にあって、スポーツは、体力の維持・向上や健康の保持・増進、青少年の健全育成などに効果があるだけでなく、仲間づくりや地域コミュニティの活性化、さらには、観光や経済にも寄与するなど、明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で欠かすことのできないものとなっていることがわかりました。
- しかしながら、このような状況の中、「時間がない」や「機会がない」など、様々な理由でスポーツを行わなかった大人や、「体力がない」「場所がない」子どもたちも大勢います。
こうした方々が、実際にスポーツに親しめるようになるため、また、現在、活動されている人たちが、より充実したスポーツライフを送れるよう、本市のスポーツ推進の理念である「だれもが、いつでも、いつまでも、スポーツを楽しむ生涯スポーツ社会の実現」を目指し、本市スポーツの推進を図っていきます。
- そのためには、市民がそれぞれのライフスタイルに応じた様々な形でスポーツに関わる機会を増やし、スポーツの楽しさや素晴らしさを享受しながら生涯を通じてスポーツを楽しむことが出来るような環境の整備を目指し、施策・事業を実施していきます。

本市では、このような環境を整備していくため、以下の3つの柱を「基本施策」とし、各種施策・事業を推進していきます。

■ スポーツ推進における「基本施策」3つの柱

- 基本施策1 ライフステージ等に応じたスポーツ活動の推進
- 基本施策2 スポーツ活動環境の充実
- 基本施策3 スポーツを支える人材の育成・団体の活性化

2 基本施策

【基本施策1】

ライフステージ等に応じた

スポーツ活動の推進

【基本施策の考え方】

- 生涯にわたってスポーツに親しむためには、市民がこれまで以上にスポーツに楽しく取り組むことが出来る環境を整える必要があるとともに、様々な形でスポーツに関わりを持つことで、市民一人ひとりが自分出来るスポーツに取り組む意欲・気運を醸成することも重要です。
このため、市民の誰もが年齢や性別、競技レベル、目的等それぞれのライフステージや志向に応じて、継続してスポーツを楽しむことができる機会の創出と「ひとり1スポーツ」の推進、スポーツ定義のPR活動に取り組んでいきます。
- 特に幼児期から少年期にかけて、スポーツの楽しさに触れ、スポーツに慣れ親しむことは、生涯にわたるスポーツ活動の習慣づけをすることにつながり、仲間づくりや体力の向上、心身の健全な発達など、多くの効果が期待できます。
また、子どもの体力は、昭和60年頃から低下してきましたが、近年低下傾向に歯止めがかかってきている状況にあります。しかし、今後も子どもの体力の向上に継続して取り組んでいくことが重要であることから、学校における体育の授業や部活動などの体育的活動の充実を図るとともに、家庭や地域と連携・協力し、スポーツ少年団活動や野外活動事業など、スポーツを楽しむ機会を創出することにより、児童・生徒のスポーツ活動を支えていきます。
- 家庭や仕事の中心となっている20歳代から50歳代においては、「時間がない」ことや「機会がない」ことのため、スポーツ活動実施率が低く、メタボリックシンドロームなど生活習慣病の予備軍ともなっていることから、健康維持に対するスポーツの効果を広く周知し、スポーツに取り組むための意識の転換と意欲の醸成を図るとともに、いつでも気軽にスポーツに親しむことのできる機会の提供を充実することが重要です。

このため、今後も身近な場所でスポーツに親しむことができる場や各種スポーツ教室、講習会などスポーツに参加する機会の提供に引き続き取り組み、また、生活リズムの中で実践できるスポーツの発見とその啓発に努めていきます。

- 高齢者の健康に対する意識は高く、多くの人が健康維持・増進のためにスポーツを行っており、仲間づくりを目的にスポーツを行う人も多く、仲間との交流や生きがいを得る場ともなっています。

一方で、「高齢のため」や「健康がすぐれない」などを理由にスポーツを実施しない傾向が見受けられます。

このため、身近な場所で、年齢や健康状況に応じたスポーツに、無理なく親しめる環境を整えるとともに、高齢者でも行えるニュースポーツなどの普及を促進していきます。

- 近年、ノーマライゼーションの理念に基づく社会の実現が求められるようになり、スポーツにおいても、これまでのリハビリテーション中心の活動から、生涯スポーツや競技スポーツへと、障がい者のスポーツ活動の幅は広がりを見せています。

このため、障がいの種類や程度に合わせたスポーツの普及や施設のバリアフリー化を進めるなど、障がい者がスポーツに参加できる環境の充実に取り組んでいきます。

【個別施策・基本項目】

(1) 子どものスポーツへの興味・関心の高揚【重点施策】

学校においては、「宇都宮市小中学校体力向上推進計画（うつのみや元気っ子プロジェクト）」と連携し、子どもに最低限身に付けさせたい技能や体力について、楽しみながら継続して取り組む機会を提供することや、学校での日常生活の中で、清掃活動や授業中など様々な活動を工夫し、それら日常活動の継続した取組を促すことなどにより、体力の向上を図ります。

さらに、部活動では、専門的な知識や技術指導力を備えた地域の指導者の活用を図ります。

地域においては、地域スポーツクラブやスポーツ少年団、スポーツ推進委員、体育協会等と連携を図りながら、スポーツ参加の機会を充実させるとともに、子どもたちが日頃の生活や遊びの中で、安全に安心して体を動かし、体力をつけることのできるような取り組みを検討します。

このように、家庭・地域・学校などが連携し、一体となることで、幼児期から子どもの体力の向上を図っていきます。

★楽しくスポーツを選ぶ機会づくり【新規項目】

- ・ジュニアスポーツ体験塾 ほか

★「宇都宮市小中学校体力向上推進計画（うつのみや元気っ子プロジェクト）」との連携【拡充項目】

- ・うつのみや元気っ子チャレンジの実施 ほか

（２）成人のスポーツ参加の促進

利用しやすいスポーツ施設となるよう、施設の弾力的な管理・運営や利用手続きの簡素化などを検討するとともに、身近な場所でスポーツに親しめる場を確保するため、学校体育施設の開放をさらに促進します。

また、市民がライフスタイルや目的に合ったスポーツに取り組めるよう、スポーツ参加機会の提供を図ります。

さらに、スポーツは生活習慣病の予防やストレスの発散など、健康づくりの重要な要素の１つとなっていることから、「（第２次）健康うつのみや２１」における健康寿命の延伸も踏まえ、買い物や通勤などについて、体力づくりを目的に車から徒歩や自転車に変更するなど、目的意識をもって体を動かす習慣をつけるよう、市民への広報や啓発を図るとともに、「（第２次）健康うつのみや２１」などの関連事業との連携などによりスポーツへの参加を促す仕組みの構築に取り組んでいきます。

★スポーツに参会しやすい機会づくり

★「（第２次）健康うつのみや２１」との連携【拡充項目】

- ・「アクティブガイド（健康づくりのための身体活動指針）」の活用による健康づくりの促進
- ・ウォーキングマップ等を活用した運動事業の充実 ほか

★ライフスタイルの中にあるスポーツ活動の促進【新規項目】

- ・ラジオ体操、職場体操
- ・体力づくりとして実施するウォーキングやサイクリングの推進
- ・スポーツ、運動の定義周知
- ・「ひとり１スポーツ」の周知 ほか

★「自転車のまち宇都宮」の推進【新規項目】

- ・自転車走行空間の整備
- ・サイクリングロードの整備
- ・自転車マップの活用
- ・サイクルステーションの充実



(3) 高齢者のスポーツ活動の促進

身近な地域でスポーツに親しめる環境を整えるため、地域が主体となって取り組むスポーツ広場整備への助成を継続するとともに、幼児から高齢者まで地域の誰もが加入できる地域スポーツクラブの設立・育成も継続して支援していきます。

また、誰もが気軽にスポーツに取り組むことができるよう、施設のバリアフリー化を進め、高齢者でも行えるニュースポーツやレクリエーションスポーツの普及を促進します。

- ★高齢者スポーツ活動拠点の確保
- ★生きがいとなるスポーツ発見の機会づくり

(4) 障がい者のスポーツ活動の促進

障がいの種類や程度に合わせたスポーツ事業の検討や指導者の養成、施設のバリアフリー化の促進など、障がい者が気軽にスポーツに参加できる環境の整備に取り組んでいきます。また、サンアビリティーズなどで行っている各種スポーツ教室や講習会の広報周知を図ります。

- ★スポーツ施設のバリアフリー化
- ★障がい者スポーツの普及促進【拡充項目】
 - ・障がい者スポーツ種目の普及促進 ほか

(5) 多世代にわたるスポーツ活動の促進【重点施策】

市民一人ひとりが、それぞれのライフステージに応じて自分に合ったスポーツ活動を見つけた上で、様々なスポーツ活動に取り組み、そうした多世代にわたる人々が、スポーツを通じて一緒に活動できるよう、その最たる場として地域スポーツクラブの育成や活動支援に取り組んでいきます。

- ★地域スポーツクラブの育成，活動支援



●基本施策1 指標①「地域スポーツクラブがカバーする地域数」

市民の誰もが、年齢や性別、競技レベル、目的等それぞれのライフステージに応じて、継続してスポーツに親しむことができるよう、スポーツ活動機会の創出策として、幼児から高齢者まで、地域の誰もが加入できる地域スポーツクラブのさらなる設立や活動の活性化を図り、クラブの活動が市内全域をカバーすることを目指します。

| 指 標 | 現状値 (H25年度) | 目標値 (H36年度) | 目標値の設定理由 |
|--------------------|----------------|----------------|---------------------------------------|
| 地域スポーツクラブがカバーする地域数 | 9地域 | 39地域 | 地域を単位とし、地域スポーツクラブが市内全域をカバーすることを目指す(※) |

(※) これまでは、全25中学校区での地域スポーツクラブの設立を目指していましたが、今後は、地域ごとに異なる特性や実情を重視し、クラブ数のみに着目するのではなく、クラブの活動が市内全域をカバーできるよう、複数の中学校区・複数の行政エリアにわたる設立や運営なども見据え、地域単位でカバー状況を把握していきます。



【基本施策2】

スポーツ活動環境の充実

【基本施策の考え方】

- 市民がスポーツを始められるようにするためには、様々なスポーツを体験したり、身近な場所でスポーツをみたりすることで、その楽しさや爽快感等を感じ、スポーツの素晴らしさを心や体で知ることが重要です。
また、スポーツを継続していく上で、そのスポーツ活動の成果を競ったり、表現したりするなどの「試す場」があることは、励みや目標となります。
このため、各種スポーツ教室や講習会、スポーツ大会等を開催するとともに、スポーツ推進委員会や体育協会、各競技団体が主催する大会への支援を行うなど、市民の皆さんのスポーツ活動を促進します。
さらに、平成32年東京オリンピック・パラリンピックの開催や、平成34年の本県国民体育大会開催を見据え、県や競技団体との連携を強化し、各種施策・事業により、競技力の向上を図っていきます。
- 本市のスポーツ施設は全体的に老朽化が進んでいるとともに、市域のスポーツ施設の整備状況が変化するなど、施設の配置が偏在化している状況があります。このようなことから、市民がスポーツに親しみやすく、活動しやすい環境を整えるため、施設配置や効果的・効率的な施設の更新について対応していきます。
また、スポーツ施設の利便性の向上を図るとともに、避難所としての役割の充実を図る必要があることから、設備整備やバリアフリー化の一層の推進に取り組んでいきます。
さらに、スポーツ施設の整備・改修については、「スポーツ施設整備計画」において、施設配置の考え方や災害時の防災拠点としての機能の充実などを含め、効果的・効率的な整備・改修を進めていきます。

- 市民に様々なスポーツ機会を提供するためには、スポーツに関する各種情報をわかりやすく、迅速にお知らせする必要があります。

このため、スポーツに関する総合的なホームページ（U-sports）を積極的に活用するとともに、インターネットのさらなる活用など、情報の提供手法の充実について検討していきます。

- プロスポーツ選手をはじめとする、国際的なアスリートの姿は、多くの人の憧れの対象であり、見る人に大きな夢と感動を与え、市民のスポーツへの関わりを、より価値あるものとしていく一助となります。また、近年のオリンピックや女子サッカーワールドカップ等の国際大会における、本市出身者や本市にゆかりのある選手の活躍により、スポーツに対する市民の興味・関心が高まっています。さらに、スポーツの裾野の拡大に向け、子どもたちがスポーツの楽しさを知る機会づくりも重要となっており、その楽しさを知るきっかけの一つとしてプロスポーツ選手や、本県出身の選手に触れる機会は重要となっています。

このため、こうしたトップレベルのスポーツに接する機会の更なる充実に取り組んでいきます。

- 多くの市民にスポーツに親しんでもらうためには、身近な地域でスポーツに親しめるようにする必要があります。

このため、学校体育施設の利用をさらに促進するとともに、大学や民間企業、県、近隣市町などとの連携を図ることにより、多くの市民が身近な所で気軽に活動できるスポーツ活動の「場」の確保を図ります。



地域スポーツクラブ



ドリームプールかわち

【主要なスポーツ施設の種目別体系】

●印：拠点施設 ※2

| | 体育館 | 運動場 | | | | |
|-----------|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-----------------------------|---------------------------|-------------------------------------------------|----------|
| | | 野球場 | ソフトボール | テニス | サッカー | 陸上競技場 |
| 全市対象施設 ※1 | ●市体育館 ●清原体育館 雀宮体育館 明保野体育館 上河内体育館 河内体育館 | ●清原球場 宮原球場 駒生球場 柳田緑地 道場宿緑地 (屋板運動場) (河内総合運動公園) | 柳田緑地 道場宿緑地 (河内総合運動公園) | 屋板運動場 清原中央公園 宮原運動公園 | 市サッカー場 石井緑地 (屋板運動場) 柳田緑地 (河内総合運動公園) | 河内総合運動公園 |
| 地域対象施設 ※3 | 学校施設 | 学校施設 御幸公園などの公園施設 上河内運動場などの上河内・河内地域の運動場 | | | | |

| | プール | ニュースポーツ | スケート | 弓道場 | 野外活動 |
|--------|---------------------------------------|------------------------|-----------|------------------|-------------------------|
| 全市対象施設 | 河内総合運動公園 屋内プール 駅東公園プール 陽南プール | (屋板運動場) (河内総合運動公園) | 市スケートセンター | 市弓道場 | 冒険活動センター サイクリングターミナル |
| 地域対象施設 | 学校施設 | 学校施設 公園施設 地域の運動場 | | 宮原運動公園 下田原運動場 | |

※1 全市対象施設

全市民を対象とするスポーツ活動の場であり、公式競技が開催できる施設

※2 拠点施設

全市対象施設のうち、全国レベルの大会等が開催できる整備水準の高い施設

※3 地域対象施設

地域住民を対象とするスポーツ活動の場であり、日常の競技・練習の場



(3) スポーツ施設等の整備【重点施策】

・・・下位計画「宇都宮市スポーツ施設整備計画」

★スポーツ施設のあり方検討及び計画的整備・改修の推進

平成24年3月に改定した、「宇都宮市スポーツ施設整備計画」に基づき、施設の計画的な整備・改修を推進していきます。

また、県において、平成34年の国体開催を見据えるとともに、東京オリンピック・パラリンピックに貢献する観点も含め、運動施設の更なる機能向上と、トップアスリートに対する支援などを目的に、平成26年1月に「総合スポーツゾーン全体構想」が示されました。

こうした動向を踏まえるとともに、本市における子どもの体力の向上や高齢者割合の増加、生活習慣病予防に対する意識の高まり、トップレベルのスポーツへの興味関心の高まりなどに対応したスポーツ施設のあり方や整備、さらには、指定管理者制度と併せ民間ノウハウの活用、市域における施設の配置バランスや既存施設の有効活用などの具体的な検討について、平成27年度に改定を予定している「宇都宮市スポーツ施設整備計画」において整理していきます。

★施設の老朽化，機能向上などへの対応

市民が快適な環境でスポーツに親しめるよう、エレベータの設置や冷暖房設備の設置、トイレの洋式化など、利便施設の整備を図ります。

また、高齢者や障がい者などが、気軽にスポーツに親しめるよう、施設のバリアフリー化を促進します。

★防災機能の充実【新規項目】

災害時の避難所として指定されている施設も多いことから、施設の安全性の確保を図るとともに、災害時の拠点施設としての防災機能の充実を図ります。



清原球場エレベータ



多目的トイレ

(4) スポーツ教室・講習会の開催

市体育館や雀宮体育館，屋内プール，スケートセンターのほか，保健センター，トライ東，サン・アビリティーズなどの施設で，年齢や性別，競技レベル，目的など，様々な市民ニーズに対応し，気軽に参加できる各種スポーツ教室の充実を図ります。

また，各小学校などを訪問して，スポーツやレクリエーションを行う，スポーツ指導デリバリー事業の充実を図ります。

★各種スポーツ教室，講演会の開催

★地域訪問・学校訪問によるスポーツ指導【拡充項目】

- ・体力向上サポーター派遣事業 ほか

(5) 競技スポーツの向上

各種スポーツ教室や講習会の開催，プロスポーツ等のレベルの高いスポーツに触れる機会の創出などにより，市民のスポーツへの関心・興味を高め，スポーツに親しむ機会を増やすことでスポーツ人口を増やし，競技力の向上を支援していきます。

また，市民の競技力向上に対する気運を高めるとともに，全国大会やオリンピック・パラリンピック・国体などのハイレベルな大会への参加を促進するため，体育協会などの競技団体や県と連携しながら選手・団体等の支援を継続します。

★国体に向けた競技スポーツの支援【新規項目】

- ・県や競技団体等との連携によるトップアスリートや指導者の発掘，育成
- ・国民体育大会開催に併せた施設の利活用促進 ほか

★スポーツ人口の裾野拡大【新規項目】

- ・スポーツ少年団加入促進 ほか

★スポーツ大会出場支援【拡充項目】

- ・スポーツ大会出場補助金の交付 ほか

(6) 野外活動事業の充実

里山の自然を生かしたキャンプサイトや冒険広場、つり橋などを備えた冒険活動センターや、森林公園の緑豊かな環境の中にあるサイクリングターミナルを活用し、ハイキングやサイクリング、冒険活動などの野外活動事業の充実を図ります。

★自然環境を生かした野外活動の推進

(7) スポーツ大会の開催・支援

日頃の練習成果を試す、あるいは、参加者がスポーツ活動を行う（参加型）きっかけや動機付け（観戦型）にも結びつく各種スポーツ大会を開催します。

また、競技団体等が主催する大会への支援を行います。

★参加型スポーツ大会、観戦型スポーツ大会の開催

- (例)
- ・ 宇都宮マラソン大会
 - ・ 市民スポーツ大会
 - ・ 大縄跳び大会
 - ・ 宇都宮ウォーキングフェスタ
 - ・ ジャパンカップサイクルロードレース、クリテリウム
 - ・ 競技団体等が主催する各種スポーツ大会

(8) スポーツ施設の利便性の向上

市民のニーズにあったスポーツ施設とするため、市所有施設においては、指定管理者制度を活用しながら利用時間の延長や各種スポーツ教室を実施したり、気軽にスポーツ施設の予約や料金の支払いが出来るような予約システムの改善について検討するなど、施設の管理・運営の充実を図ります。

また、大学や民間企業が所有する体育館や運動場などのスポーツ施設においては、地域への開放について協力を依頼するなど、市民が利用しやすいスポーツ施設の利用環境の確保に取り組みます。

★施設予約システムの利便性の向上

- ・ 施設予約システムの再構築【拡充項目】 ほか

★利用者ニーズにあった施設利用環境の確保

- ・ 指定管理者制度の活用
- ・ 企業、大学、学校などの施設の活用促進 ほか

●基本施策2 指標②「スポーツ施設利用満足度」

スポーツ活動環境の向上を図るため、スポーツ施設の計画的な整備を進めることで、市民がスポーツ活動に快適に、安全に取り組むことのできる「場」を充実し、スポーツ施設利用者の満足度のアップを目指します。

| 指 標 | 現状値 (H23年度) | 目標値 (H36年度) | 目標値の設定理由 |
|-----------------|----------------|----------------|----------------------------------------|
| スポーツ施設 利用満足度 | 69% | 80% | 施設利用の利便性の向上を図り、中間的評価層を満足層に取り込むことを目指すもの |

●基本施策2 指標③「スポーツ教室の参加者数」

市民が、スポーツを始められるようにするためには、様々なスポーツを体験し、活動することができる環境を整えることが重要であることから、各種スポーツ教室や講習会等を開催し、内容の充実に取り組み、スポーツ教室の参加者増加を目指します。

| 指 標 | 現状値 (H25年度) | 目標値 (H36年度) | 目標値の設定理由 |
|--------------------|----------------|----------------|--------------------------------------|
| スポーツ教室(※)の 参加者数 | 45,334人 | 50,000人 | 施設の有効利用を図り、市民の10人に1人が教室に参加することを目指すもの |

(※) スポーツ教室は、市有のスポーツ施設などにおいて、直営又は指定管理者により実施したものです。



【基本施策3】

スポーツを支える人材の育成・ 団体の活性化

【基本施策の考え方】

- 人生において、スポーツに打ち込み、勝利を目指す体験は貴重なものです。一方では、勝ち負けよりも体力・健康づくりや楽しみ志向など、スポーツを気軽に楽しみたいという方も多く、スポーツに対する市民ニーズも多様化しています。

このため、そうした多様化する市民ニーズに対応できる指導者の育成に努めるとともに、新たな指導者の発掘・活用に取り組みます。

また、指導者登録機能を有するホームページ“U-sports”を利用し、登録指導者の有効活用を図ります。

- スポーツを続けるためには、1人ではなく、多くの仲間と交流し、競い合い、励ましあうことが、とても大切です。

また、スポーツを通じた人と人との交流や地域内の交流を促進することにより、人々の生活に活力が生じることや、地域の活性化が図られることなどの効果に対する期待はさらに高まっています。

このため、地域の誰もが参加でき、地域住民が主体的に運営する地域スポーツクラブの設立・運営を支援するとともに、スポーツ推進委員会、体育協会、スポーツ少年団などの地域に根ざしたスポーツ関係団体を支援します。

- 本市には、3つのプロスポーツチームがあり、市民のスポーツへの興味や関心を高めるとともに、市民の一体感の醸成や青少年の健全育成、さらには、地域の活性化、まちづくりなどに貢献しています。

このため、ファン層拡大などのための広報活動や社会貢献活動の実施に係る取組など、プロスポーツチームの公共的な側面に対して支援を継続していきます。

また、本市の都市ブランドや観光資源としての活用についても取り組んでいきます。

【個別施策・基本項目】

(1) スポーツ指導者の育成・活用【重点施策】

スポーツ推進委員や少年スポーツ指導員、各競技団体と連携しながら、民間企業や大学などの専門知識を生かした講習会の実施などを通じて、多様化する市民のスポーツニーズに対応できる指導者の育成を図るとともに、新たな指導者の確保に取り組みます。

★市民ニーズに対応できるスポーツ指導者の発掘・活用【拡充項目】

- ・「うつのみや部活動いきいきプラン」との連携
(部活動地域指導者研修会等)
- ・企業、大学などの専門知識を生かした講習会の実施
(スポーツ医学、栄養学や実技) ほか

(2) スポーツ活動団体の育成・支援

効果的なスポーツ推進をさらに図るために、スポーツ推進委員会をはじめ、体育協会や地域スポーツクラブ、スポーツ振興財団などの各種スポーツ団体が互いの連携を強化できるよう支援していきます。

また、それらの活動について運営補助などの支援を行い、組織の運営について支援していきます。

★スポーツ団体間の連携強化【新規項目】

- ・体育協会、各競技団体の情報発信力の強化 ほか

★スポーツ団体の活動支援

(3) スポーツ情報提供の充実【重点施策】

スポーツに関する総合的なホームページ(U-sports)を積極的に活用し、多種多様なスポーツ種目の概要やルール等といった情報をライブラリ化することや、動画情報を活用するなどの工夫により、市民がスポーツに関する基礎的な情報を簡単に調べることができるような仕組みを検討します。

また、オリンピックや国際大会などで活躍した、本市出身選手や本市にゆかりのあるトップレベルのスポーツ選手や本市をホームタウンとするプロスポーツチームの情報を積極的に発信し、市民のスポーツに対する興味・関心を高めるとともに、まちづくりや地域の活性化につなげます。

第6章 計画推進のために

1 生涯スポーツ社会の実現に向けた役割

だれもが、いつでも、いつまでも、スポーツを楽しむ生涯スポーツ社会を実現するためには、スポーツをすること自体が喜びや楽しさをもたらす活動であるということを念頭に置き、地域・学校・企業・行政など様々な関係機関が相互に連携し、子どもから高齢者まで、市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境の実現をめざす必要があります。

こうしたことから、生涯スポーツ社会の実現に向け、市民の皆さんをはじめ、それぞれが以下のような役割を担うことを目指していきます。

【市民の役割】

- 市民は、スポーツを実際に行うことはもちろん、トップレベルの大会やプロスポーツ等の観戦、子ども・友人・職場のチームの応援などへの参加や、各種スポーツ団体の運営・支援、スポーツに関連するボランティア活動などの実施により、スポーツへ関わることを目指します。こうした自分に合ったスポーツ活動や、スポーツへの関わり方を実践することで、生涯にわたってスポーツを楽しみます。
- また、ライフステージに応じた取組として、少年期や青年期には、スポーツを通し、体力の向上を図る他、ルールを守る大切さを身につけるとともに、仲間との関係を深めます。成人期や高齢期には健康管理や体力の維持増進に努め、スポーツの指導や交流により、次世代の育成への取り組みが期待されます。

目標：市民一人ひとりが生涯にわたって、自分にあったスポーツ活動を実践します。

【家庭の役割】

- 家庭においては、運動不足や体力の低下などといった子どもたちの現状を十分に理解し、屋外で遊んだり、家族で共通のスポーツをしたり、スポーツを見たり、地域のスポーツ行事に積極的に参加するなど、体を動かす機会やスポーツに親しむ機会を意識して確保するよう取り組みます。

- また、子どもがスポーツをやってみたいという意志を尊重し、スポーツに取り組ませるとともに、その結果に対しては、励ましの言葉をかけたり、褒めたりするなど、楽しみや喜びの体験、また時には辛さを乗り越えられるよう、スポーツを継続する状況を積極的につくり、心身ともに健康な家庭づくりに取り組みます。

目標：家族みんなでスポーツへの理解を深め、活動を実践します。

【地域の役割】

- 地域においては、これまでも地区の体育祭をはじめ、様々なスポーツ・レクリエーションに関するイベントを開催してきました。
今後とも、それぞれの地域の特性や強みに応じた健康づくりやスポーツ・レクリエーション活動を充実することにより、地域住民の体力の維持増進、世代間の交流に取り組みます。
- また、家庭や学校、企業、行政と連携し、今後の地域スポーツ活動推進の核となる地域スポーツクラブの設立と運営に積極的に関わっていきます。
これらの活動にあたっては、各地区のスポーツ推進委員や体育協会をはじめとする人々と連携しながら、地域住民のスポーツ意欲を高めていきます。

目標：地域ぐるみでスポーツを通して交流します。

【地域スポーツクラブの役割】

- 地域スポーツクラブは、地域住民の方々が発意し、設立され、自主的に運営されている、他種目展開のスポーツクラブです。年齢や体力、目的などに応じて、いつでも、どこでも身近な場所でスポーツに親しむことができる組織であるため、スポーツ振興だけでなく、健康づくりや生きがいづくりなどにも大きく貢献しています。
- 今後とも、地域の力を最大限に発揮し、地域の実情やニーズを捉えながら、クラブを自主的に運営し、各種スポーツ事業などを実施することにより、市民が気軽にスポーツができるもっとも身近な「場」としての役割を担うことが期待されます。

目標：「地域スポーツクラブ」を地域住民で設立し、自主的運営ができるもっとも身近でスポーツに親しめる「場」にします。

【スポーツ推進委員会の役割】

- 宇都宮市スポーツ推進委員会は、市教育委員会が、小学校区域を単位に任命したスポーツ推進委員により構成されている組織です。
- スポーツ推進委員は、スポーツの推進を図るため、地域の中で、スポーツの実技指導やスポーツ事業の実施に係る連絡調整、その他スポーツに関する指導・助言を行うとともに、宇都宮マラソン大会やジャパンカップサイクルロードレースなどの全市的なイベント運営にも積極的に参加してきました。
- 今後とも、多様化する市民ニーズに対応するため、地域住民や行政とのコーディネーターとしての役割、スポーツに関する指導・助言を積極的に実施し、本市スポーツ振興の推進役としての役割を担うことが期待されます。

目標：選出されたブロックやその枠を超えて、地域住民や行政との
コーディネーターとして活動するとともに、スポーツに関する
指導・助言を積極的に行います。

【体育協会の役割】

- 宇都宮市体育協会は、アマチュア競技団体や地区体育団体、スポーツ少年団本部により構成され、全市民を対象として事業を展開している組織です。
- 体育協会はこれまでも、市民や家庭、地域に一番身近なスポーツ関係団体として、スポーツ人口の拡大、競技力の向上、スポーツ少年団の健全育成を目的に、スポーツ大会やイベントの実施、指導者の育成・派遣に取り組んできました。
- 特に、地域コミュニティ内での住民同士の交流の重要性が再認識される中で、今後とも、地域に根ざした組織として、スポーツ事業を充実するとともに、地域スポーツクラブの育成や運営への支援、協力を強化していきます。また、加盟団体や主催行事等の積極的な情報発信に努め、市民のスポーツ活動の動機付けに取り組めます。

目標：体育協会として、各団体・関係機関と協調を図りながら、
地域のスポーツ指導者の育成や競技力の向上をめざし、市
行政の「生涯スポーツの推進」に連携・協力しながら活動推
進します。

【スポーツ振興財団の役割】

- 公益財団法人宇都宮市スポーツ振興財団は、スポーツ人口の拡大や、総合的なスポーツ施設の管理を目指して設立された、本市の出資法人です。
- スポーツ振興財団は、これまで宇都宮マラソン大会や、市民を対象として地域や学校などで各種スポーツ教室などの全市的な事業を実施しており、本市スポーツ施設の指定管理者として、施設の管理・運営を行っております。また、スポーツを始めたい方や、スポーツ初心者の方が、手軽に気軽にスポーツを体験できる場の充実に取り組んでおります。
- 今後とも、スポーツに精通した組織として、本市スポーツ事業の中心的役割を果たしながら、市民を対象とした各種スポーツ教室等の事業をさらに充実させたり、希望先に訪問する「スポーツ指導デリバリー事業」など市民ニーズに応じた事業をきめ細かに実施したりすることにより、本市全体のスポーツ振興と、市民の生涯スポーツの取組の促進が期待されます。

目標：スポーツ振興財団は、利用しやすい施設運営をめざすとともに、個人のスポーツニーズを満たす事業を推進する団体となります。

【学校等の役割】

- 学校等とは、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、その他を指します。それら学校等は、日常の生活を通して、また体育の授業や部活動を通して、児童生徒の体力向上に努めるとともに、スポーツの意義である、努力すること、ルールを守ること、協力することの大切さ、それらが成果につながったときの喜び、スポーツを通じた仲間作りの素晴らしさなどを子どもたちが享受できるよう取り組みます。
- また、現在も実施している体育館や校庭の地域への開放を、より一層推進するとともに、地域スポーツクラブやスポーツ少年団など、地域が行うスポーツ活動への協力を充実が期待されます。

目標：学校等は、スポーツの素晴らしさを子どもたちに伝えるとともに、学校施設の地域開放を進めます。

【大学の役割】

- 本市には、複数の大学があり、スポーツに関わる授業・研究や人材の育成が進められているとともに、運動部が活発に活動し、また、一部の大学では、地域住民にスポーツ施設の貸し出しが行われています。
- 今後とも、学内スポーツの推進を図るとともに、地域住民への施設の貸し出しの拡大、スポーツ指導者の派遣、スポーツ団体との交流など、地域との連携の強化が期待されます。また、地域・企業・行政と連携したスポーツ、健康に関する調査研究の実施や、その成果のフィードバックに取り組みます。

目標：大学は、スポーツに関するノウハウや人材・大学施設を、
地域とともに活用します。

【企業の役割】

- 本市には、工業団地を中心に、多くの企業が立地しています。
- そうした中、企業は、従業員の健康管理や福利厚生観点からは、サークル活動など企業内スポーツの推進や、スポーツ大会等のイベントの開催に努めるとともに、地域連携観点からは、各従業員が地域の構成員として地域のスポーツ活動に積極的に参加したり、指導したりできる環境作りに取り組んでいきます。
- さらに、企業自体が地域の一員として、自社のグラウンド等の施設を地域に開放することに取り組むとともに、スポーツイベントの開催に向けた協力・支援にも取り組んでいきます。

目標：企業は従業員の福利厚生の一環として、運動会やサークル
活動などを応援するとともに、企業自体が地域の一員として、
スポーツの気運を盛り上げます。

【民間スポーツ施設の役割】

- フィットネスジムや、施設の貸し出しなど、スポーツ施設を所有・運営する民間企業として、会員や利用者のスポーツ活動を推進していきます。
- また今後は地域の一員として、地域に対するスポーツ指導者の派遣など、スポーツに関するノウハウを積極的に提供することにより、地域のスポーツ活動への一層の寄与が期待されます。

目標：会員・利用者に活動の「場」を広く提供するとともに、
スポーツに関する情報やノウハウを積極的に発信します。

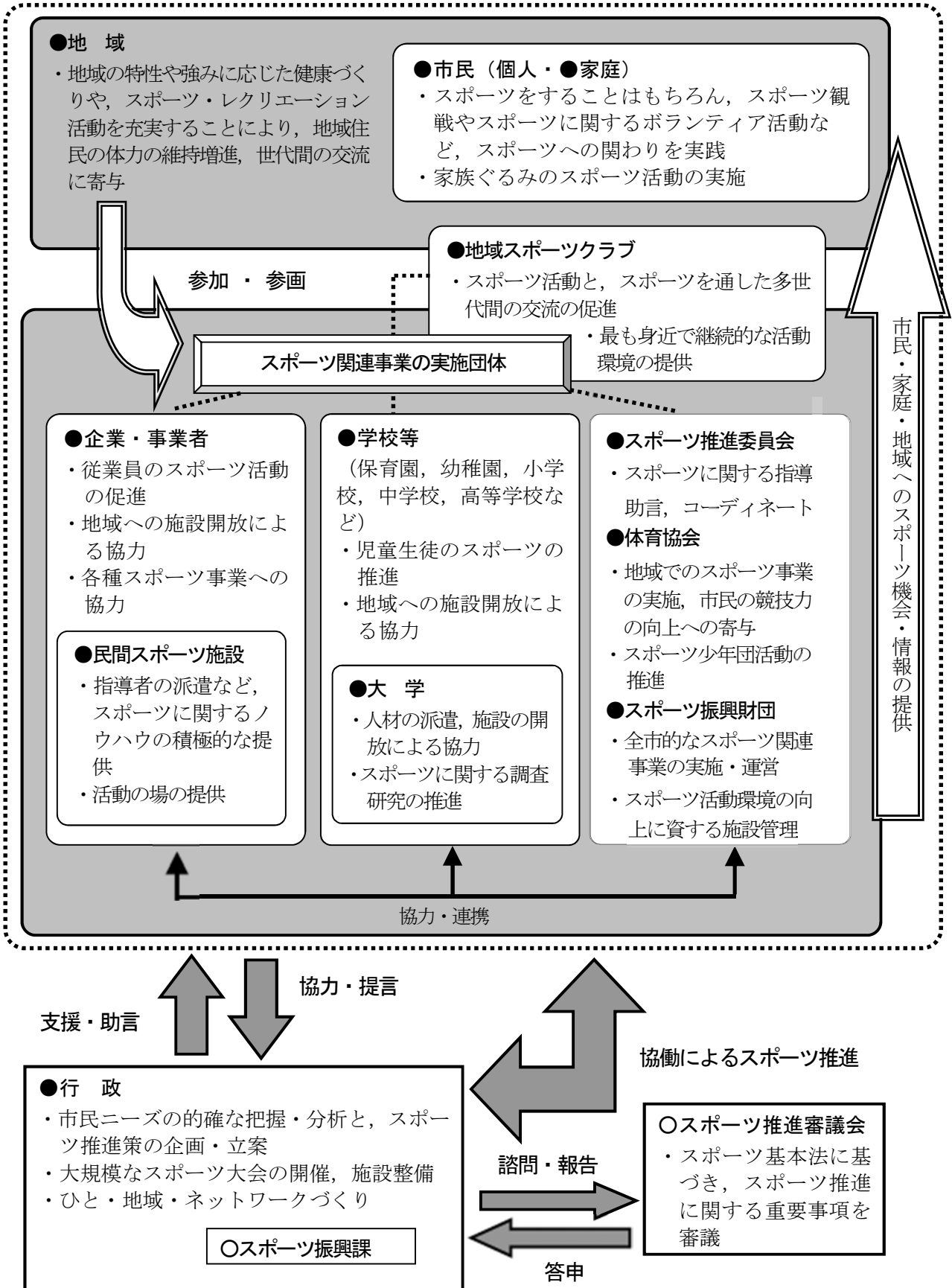
【行政の役割】

- 行政は、生涯スポーツ社会の実現に向け、市民ニーズを的確に把握・分析し、スポーツ推進に関する方針や施策を立案するとともに、スポーツ大会の開催や、民間には困難な大規模施設の整備を担っていきます。
- さらに、今後は指導者の育成をはじめとするスポーツに関する「ひとづくり」や、関係機関・競技団体との連携強化などスポーツに関する「ネットワークづくり」、行政のノウハウやネットワークを活用しながら、スポーツを通じた「地域づくり」に努めます。

目標：行政は、スポーツ推進に関する方針作成や施策を実施し、
スポーツを通じた「ひと・地域・ネットワーク」づくりを
実践します。



◎各主体の役割と連携のイメージ



2 計画の実現に向けて

- 計画の実現に向けては、施策事業の進行管理が重要であることから、基本施策ごとに目標を定め、計画的に実施していきます。
- 特に、子どものスポーツ機会の充実にあたっては、子ども達が、屋外で安心して遊んだり、スポーツしたりすることが必要であることから、学校や家庭、地域が一体となって、スポーツに関する取組を進めていきます。
- 本市のスポーツ振興に関する情報を発信するとともに、市民のスポーツに関する意識調査を定期的を実施することにより、市民ニーズを把握し、様々なスポーツ推進事業に反映していきます。
- 計画の実現に向けては、施策事業の着実な推進が重要であることから、特に「重点施策・事業」を中心にそれぞれの取り組みを計画的に進行管理します。また、進捗状況については、学識経験者や学校関係者、スポーツ推進委員などから成る「スポーツ推進審議会」へ報告し、意見を聴取しながら検証し、改善を図っていきます。



資 料

- 平成22年度 市政世論調査の結果について …… 1

- 平成23年度 スポーツに関する市民意識調査の結果について …… 5

■ 平成22年度市政世論調査結果（スポーツ関係）について

1 調査の目的

この調査は、市民が市政についてどの様を考え、また何を望んでいるのかを把握し、快適で活力のあるまちづくりを推進するための基礎資料とすることを目的に、実施している。

2 調査の概要

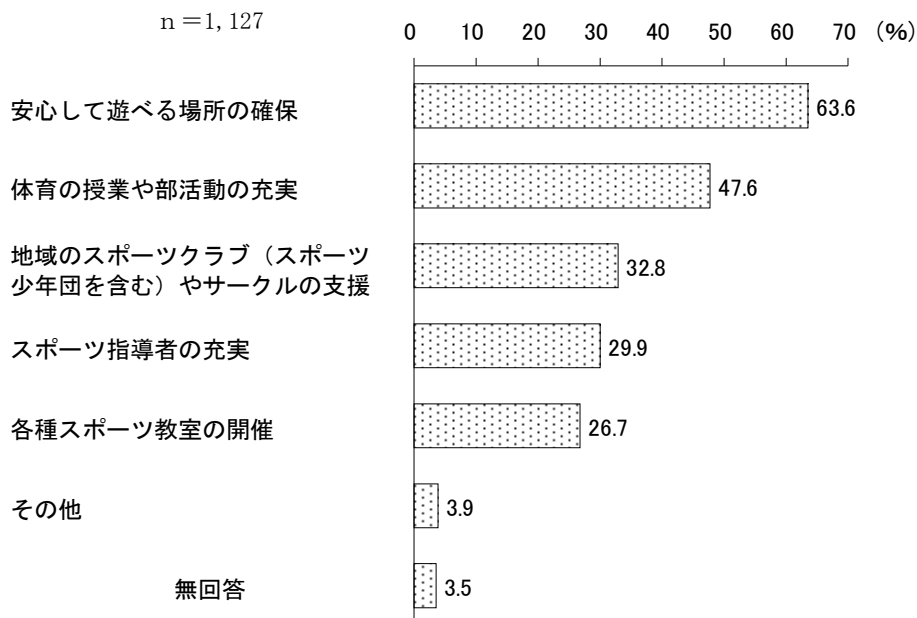
- (1) 調査対象 満20歳以上80歳未満の市民 3,823人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳から、100分の1の割合で無作為に抽出
- (3) 調査方法 郵送法
- (4) 調査期間 平成22年7月5日～7月23日
- (5) 回答数 2,259件（回答率：59.1%）

3 調査項目と結果

(1) 子どもの体力向上のための取組

【問】子どもの体力の低下が近年顕著となっていますが、子どもの体力を向上させるためには、どのようなことが必要であると思いますか。（○はいくつでも）

◇「安心して遊べる場所の確保」が6割を超える

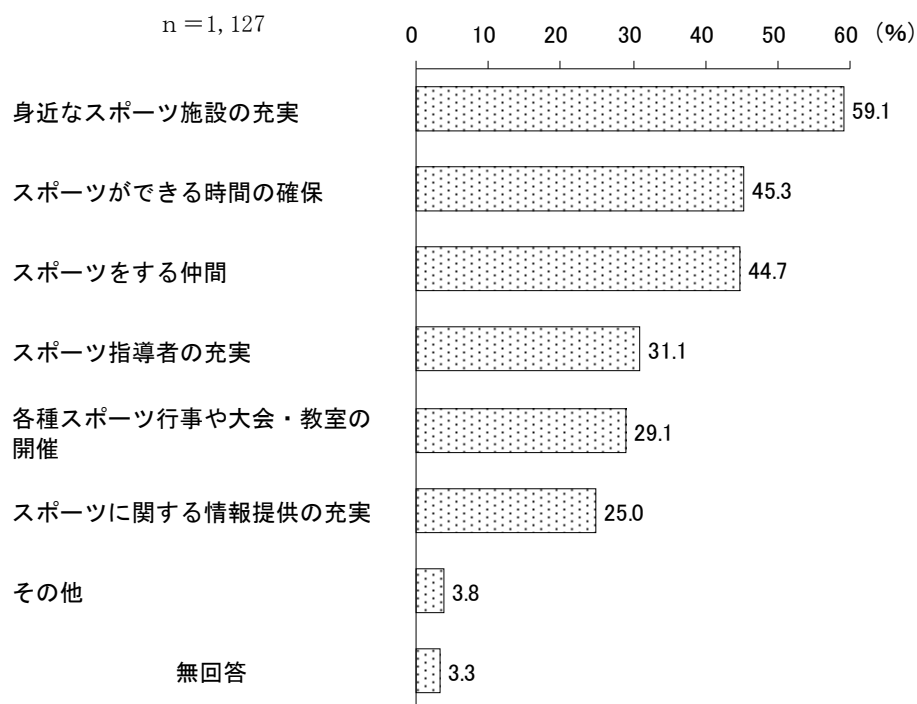


「安心して遊べる場所の確保」（63.6%）が6割を超えて最も高くなっている。次いで、「体育の授業や部活動の充実」（47.6%）が5割近くと続いている。

(2) スポーツの開始・継続のための取組

【問】スポーツを始める，または続けるためには，どのようなことが必要であると思いますか。(〇はいくつでも)

◇「身近なスポーツ施設の充実」がほぼ6割

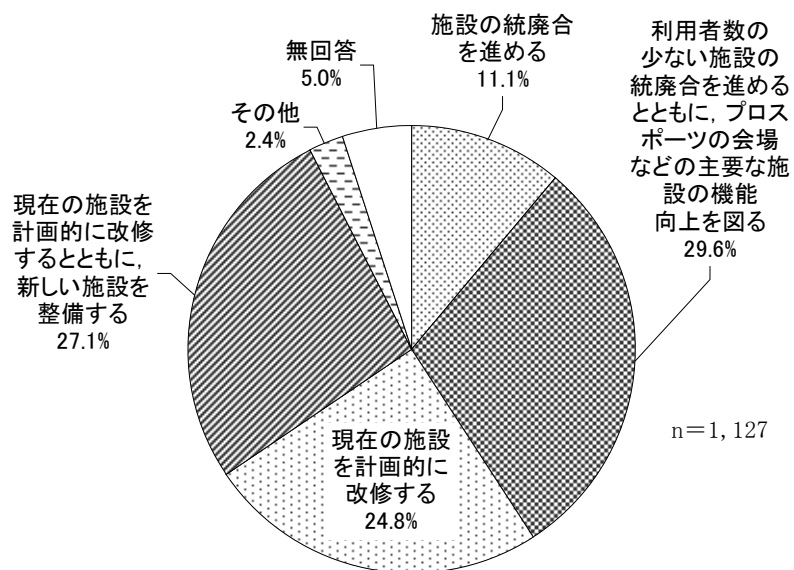


「身近なスポーツ施設の充実」(59.1%)がほぼ6割で最も高く，次いで，「スポーツができる時間の確保」(45.3%)と「スポーツをする仲間」(44.7%)がともに4割台半ばと続いている。

(3) 施設の整備

【問】市は、これまで体育館や運動場など多くのスポーツ施設を整備してきましたが、現在、多くの施設が老朽化しています。限られた予算の中で、今後、どのように施設を整備していくことが望ましいと思いますか。(〇は1つ)

◇「利用者数の少ない施設の統廃合、主要な施設の機能向上を図る」がほぼ3割

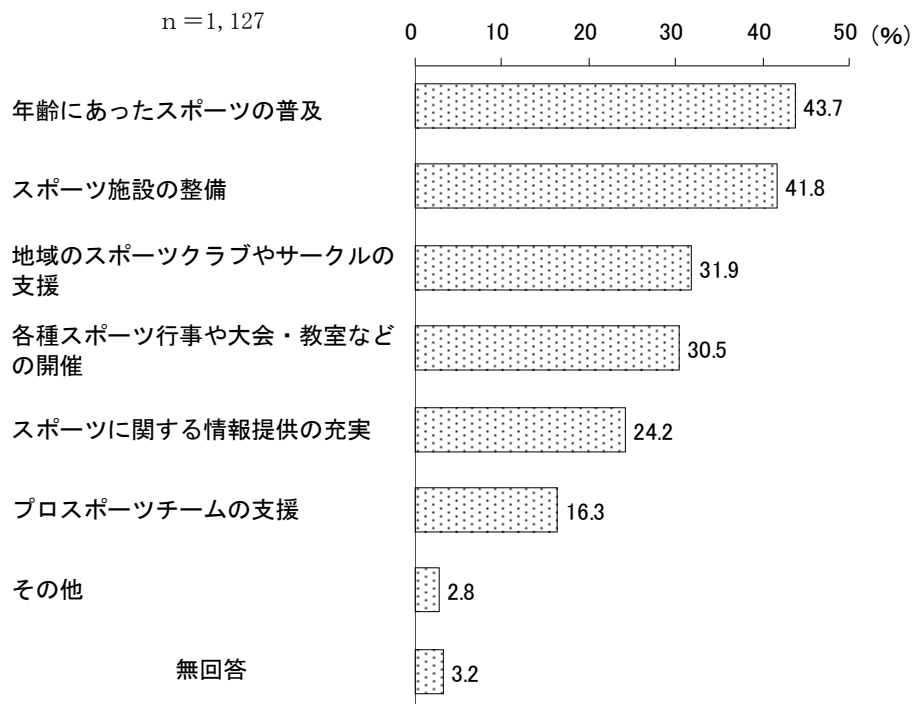


「利用者数の少ない施設の統廃合を進めるとともに、プロスポーツの会場などの主要な施設の機能向上を図る」(29.6%)がほぼ3割で最も高く、次いで、「現在の施設を計画的に改修するとともに、新しい施設を整備する」(27.1%)と「現在の施設を計画的に改修する」(24.8%)がともに2割台と続いている。

(4) スポーツ振興における行政への期待

【問】 スポーツをさらに振興させるために、あなたが行政に期待することはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

◇ 「年齢にあったスポーツの普及」と「スポーツ施設の整備」が4割を超える



「年齢にあったスポーツの普及」(43.7%)と「スポーツ施設の整備」(41.8%)が4割を超えて高く、次いで、「地域のスポーツクラブやサークルの支援」(31.9%)と「各種スポーツ行事や大会・教室などの開催」(30.5%)がともに3割台と続いている。

■ 平成23年度スポーツに関する市民意識調査結果について

1 調査の目的

この調査は、市民がスポーツや運動についてどのような考えや意見を持っているか調査し、「スポーツ振興基本計画」や「スポーツ施設整備計画」の見直しのための基礎資料とすることを目的とする。

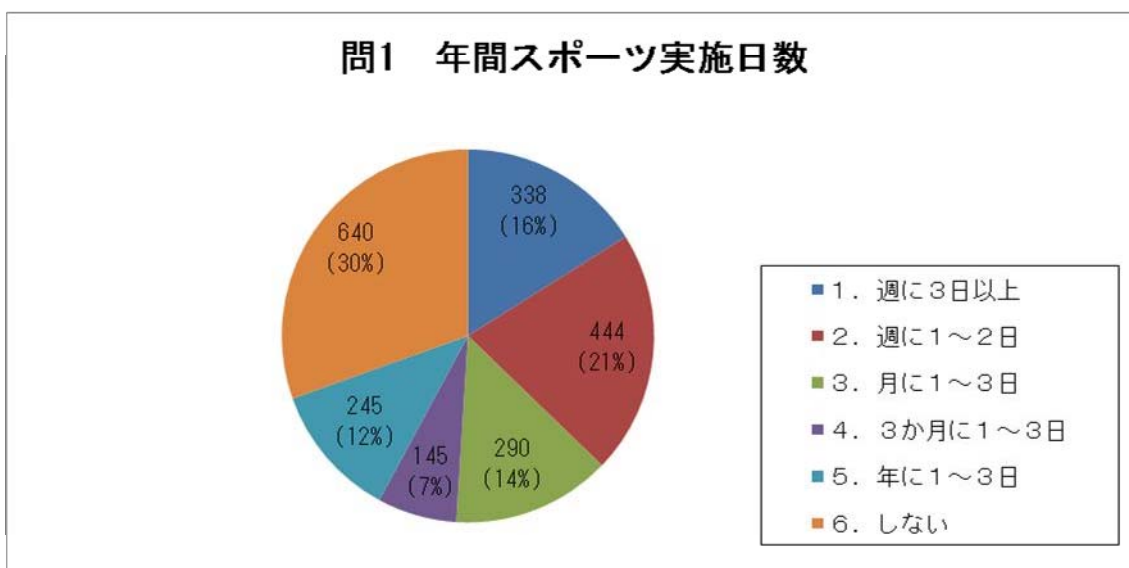
2 調査の概要

- (1) 調査対象 満20歳以上80歳未満の市民 4,000人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳から無作為に抽出
- (3) 調査方法 郵送法
- (4) 調査期間 平成23年12月5日～12月16日
- (5) 回答数 2,133件 (回答率: 53.3%)

3 調査項目と結果

(1) 運動やスポーツの実施について

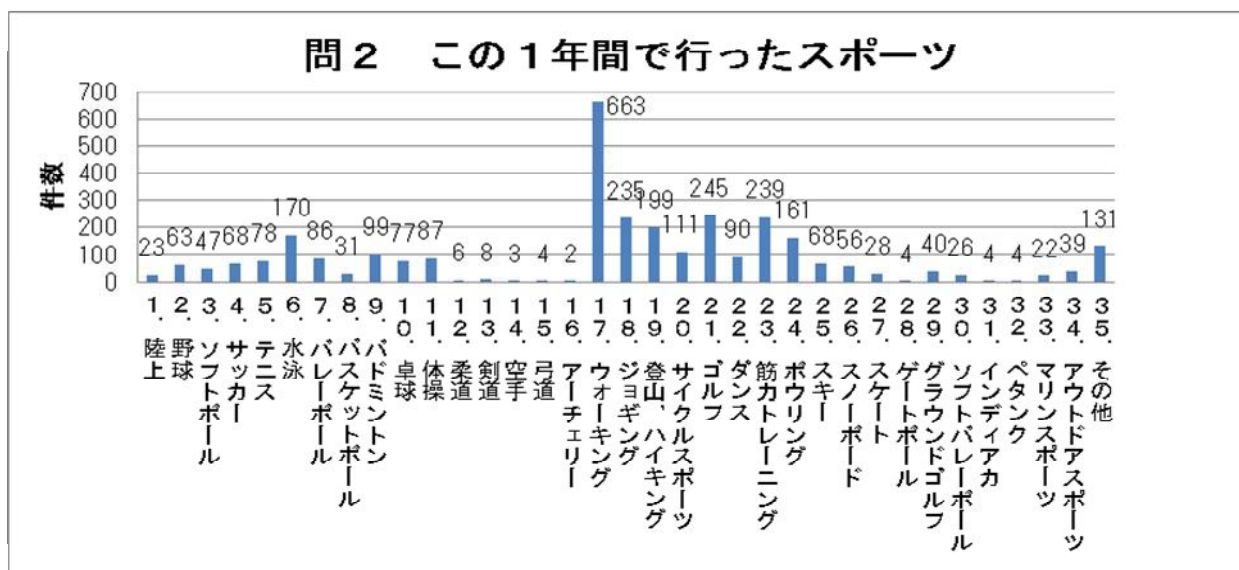
【問1】この1年間に運動やスポーツを行った日数はどのくらいですか。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)



スポーツ実施率を聞いたところ、「しない」(30.4%)がほぼ3割で最も高く、次いで、「週に1~2日」(21.1%)が続いている。

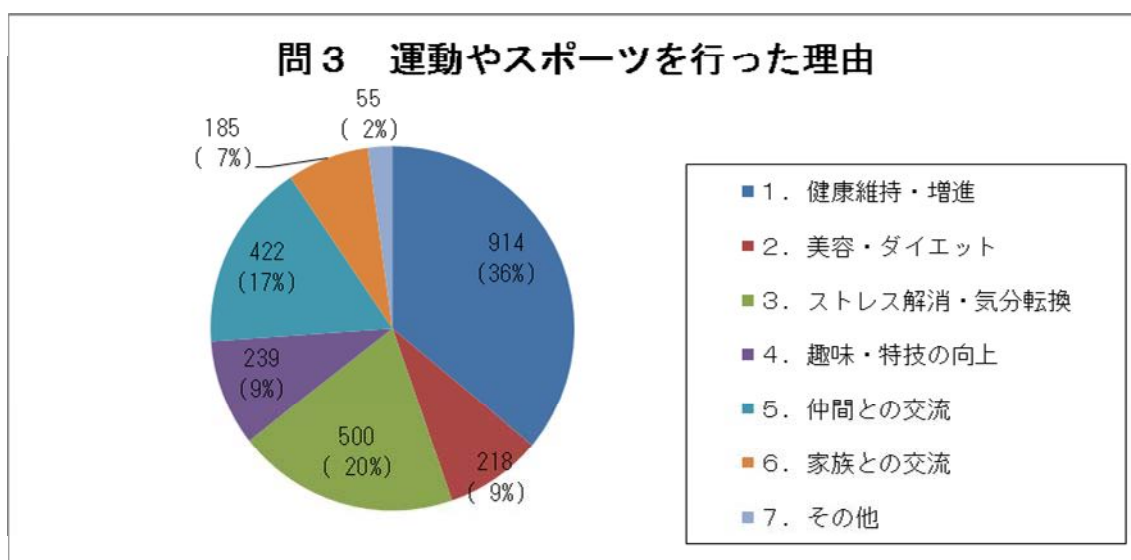
基本目標である、スポーツ実施率(20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率)は、37.2%と4割に届いていない。

【問2】この1年間にどのような運動やスポーツを行いましたか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)



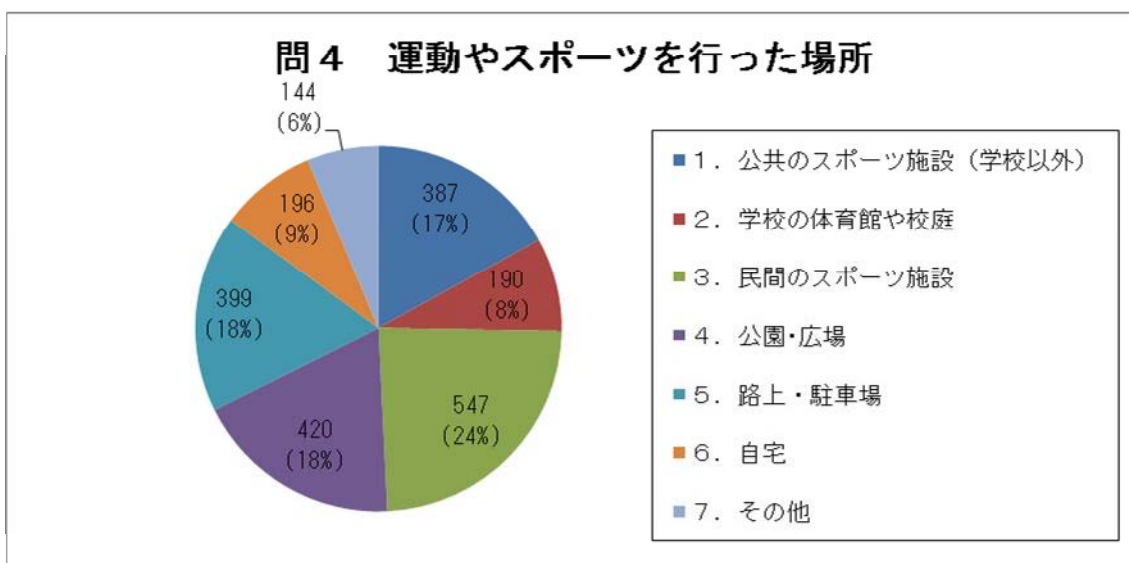
この1年間に行った運動やスポーツの種目を聞いたところ、「ウォーキング」(45.3%)が一番多く、4割以上の方が実施している。次いで、「ゴルフ」(16.8%)、「筋力トレーニング」(16.3%)、「ジョギング」(16.1%)が続いている。

【問3】運動やスポーツを行ったのはどのような理由からですか。(あてはまるもの2つまで選んで○をつけてください。)



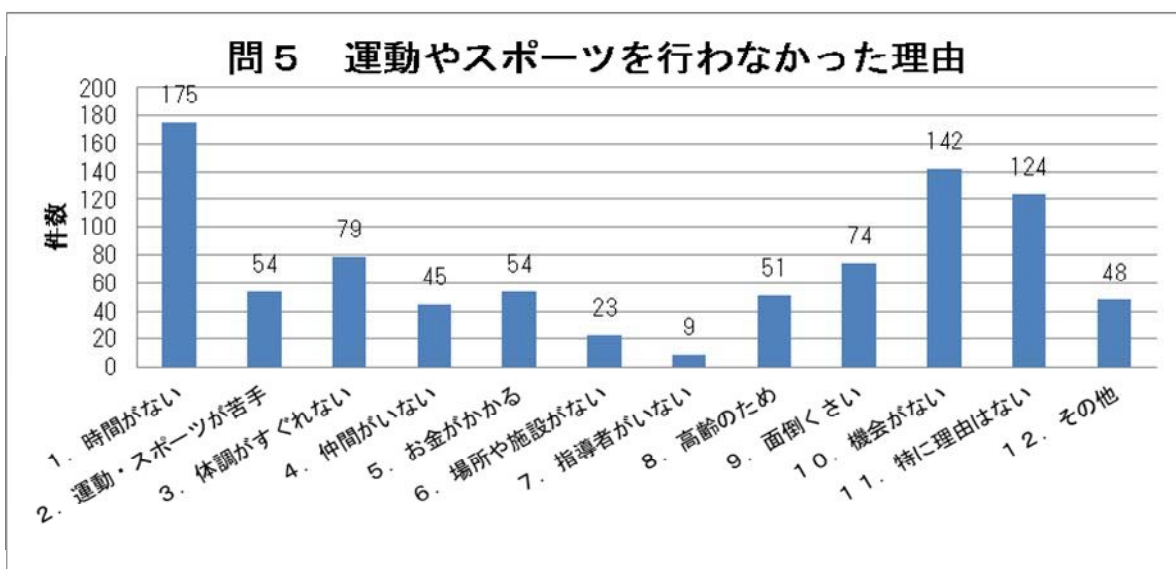
運動やスポーツを行った理由を聞いたところ、「健康維持・増進」(36.1%)が3割を超え最も高く、ついで、「ストレス解消・気分転換」(19.7%)がほぼ2割で続いている。

【問4】運動やスポーツを主にどのような場所で行いましたか。(あてはまるもの2つまで選んで○をつけてください。)



運動やスポーツを行った場所を聞いたところ、「民間のスポーツ施設」(24.0%) 2割を超えて最も高く、「公園・広場」(18.4%)、「路上・駐車場」(17.5%)、「公共のスポーツ施設 (学校以外)」(17.0%)が続いている。

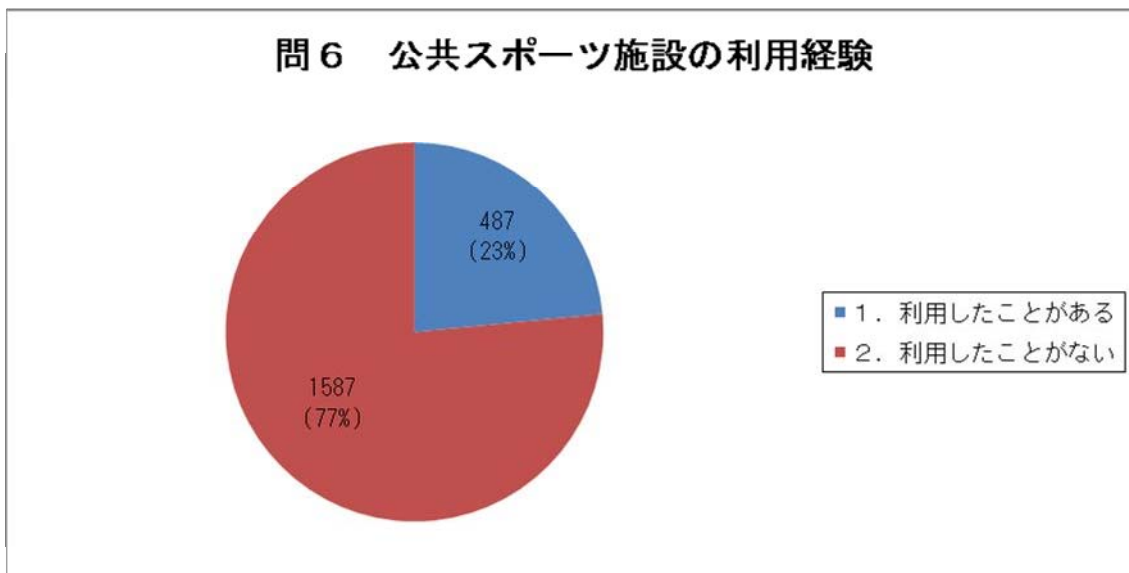
【問5】運動やスポーツを行わなかったのはどのような理由からですか。(あてはまるもの2つまで選んで○をつけてください。)



運動やスポーツを行わなかった理由を聞いたところ、「時間がない」(27.3%) が3割程度で最も多く、「機会がない」(22.2%)が続いている。

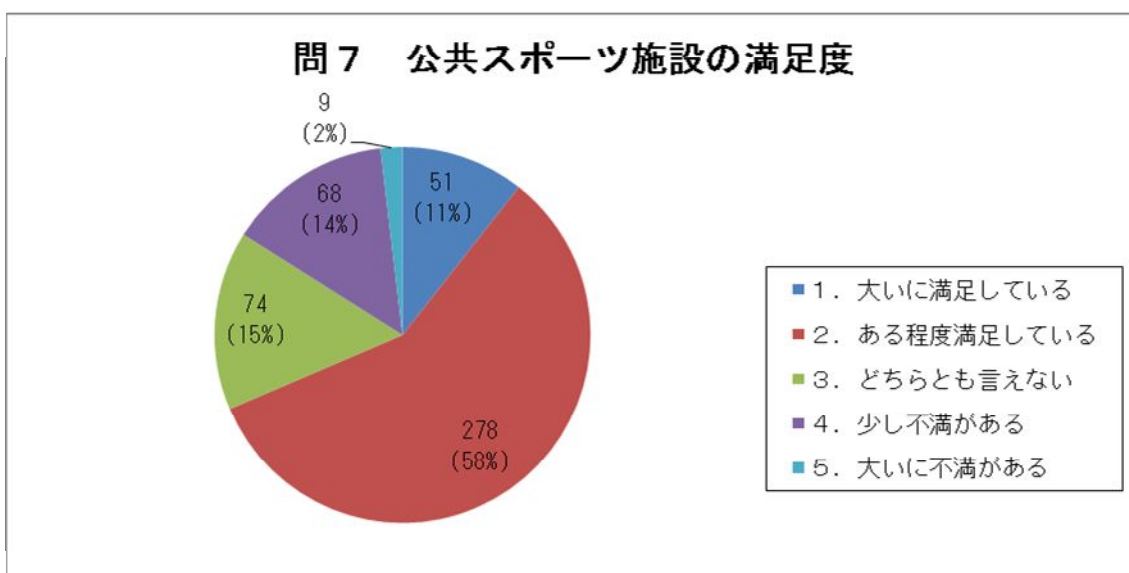
(2) 公共スポーツ施設について

【問6】この1年間に市の公共スポーツ施設（学校体育施設を除く）を利用したことがありますか。（あてはまるもの1つに○をつけてください。）



公共スポーツ施設（学校体育施設を除く）の利用について聞いたところ、「利用したことがない」（76.5%）が7割を超えた。

【問7】公共スポーツ施設の利用に満足していますか。（あてはまるもの1つに○をつけてください。）



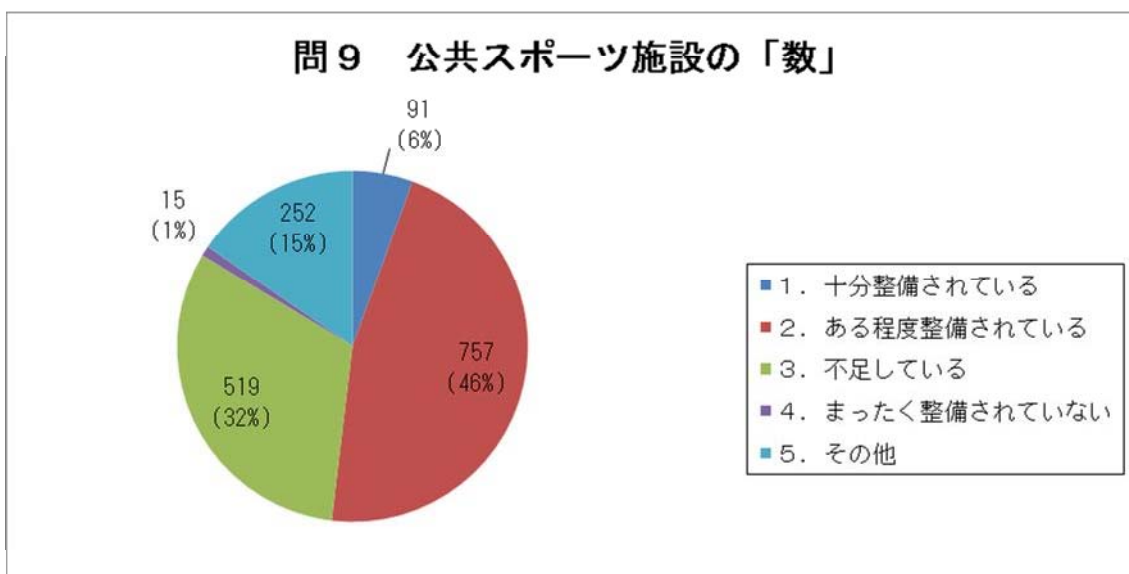
公共スポーツ施設（学校体育施設を除く）の満足度について聞いたところ、「ある程度満足している」（57.9%）が最も多く、「大いに満足している」（10.6%）を加えると、7割程度となった。

【問8】公共スポーツ施設を利用する上で、要望することは何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

| 全体 | い 利用手続きを簡単にして欲しい | 利用時間を延ばして欲しい | い 施設を大きく・広くして欲しい | 施設を大きく・広くして欲しい 施設の設備や用具を充実させて欲しい | 施設の設備や用具を充実させて欲しい 付帯設備（交流施設や託児施設など）を整備して欲しい | 利用料金を安くして欲しい | 駐車場を広くして欲しい | 交通の利便性（公共交通機関など）をよくして欲しい | 特になし | その他 | |
|-------|---------------------|--------------|---------------------|-------------------------------------|------------------------------------------------|--------------|-------------|--------------------------|-------------|------------|---------------|
| 3,114 | 606 19.5 | 290 9.3 | 169 5.4 | 377 12.1 | 127 4.1 | 562 18.0 | 321 10.3 | 209 6.7 | 350 11.2 | 103 3.3 | 全体 (%) |
| 381 | 78 20.5 | 50 13.1 | 22 5.8 | 52 13.6 | 24 6.3 | 83 21.8 | 25 6.6 | 16 4.2 | 23 6.0 | 8 2.1 | 20～29歳 (%) |
| 688 | 117 17.0 | 77 11.2 | 43 6.3 | 101 14.7 | 54 7.8 | 122 17.7 | 70 10.2 | 38 5.5 | 48 7.0 | 18 2.6 | 30～39歳 (%) |
| 673 | 147 21.8 | 66 9.8 | 36 5.3 | 80 11.9 | 18 2.7 | 114 16.9 | 86 12.8 | 41 6.1 | 62 9.2 | 23 3.4 | 40～49歳 (%) |
| 353 | 75 21.2 | 32 9.1 | 20 5.7 | 48 13.6 | 11 3.1 | 70 19.8 | 35 9.9 | 26 7.4 | 29 8.2 | 7 2.0 | 50～59歳 (%) |
| 711 | 142 20.0 | 54 7.6 | 32 4.5 | 72 10.1 | 16 2.3 | 129 18.1 | 73 10.3 | 56 7.9 | 103 14.5 | 34 4.8 | 60～69歳 (%) |
| 286 | 43 15.0 | 9 3.1 | 14 4.9 | 21 7.3 | 4 1.4 | 40 14.0 | 30 10.5 | 30 10.5 | 82 28.7 | 13 4.5 | 70～79歳 (%) |

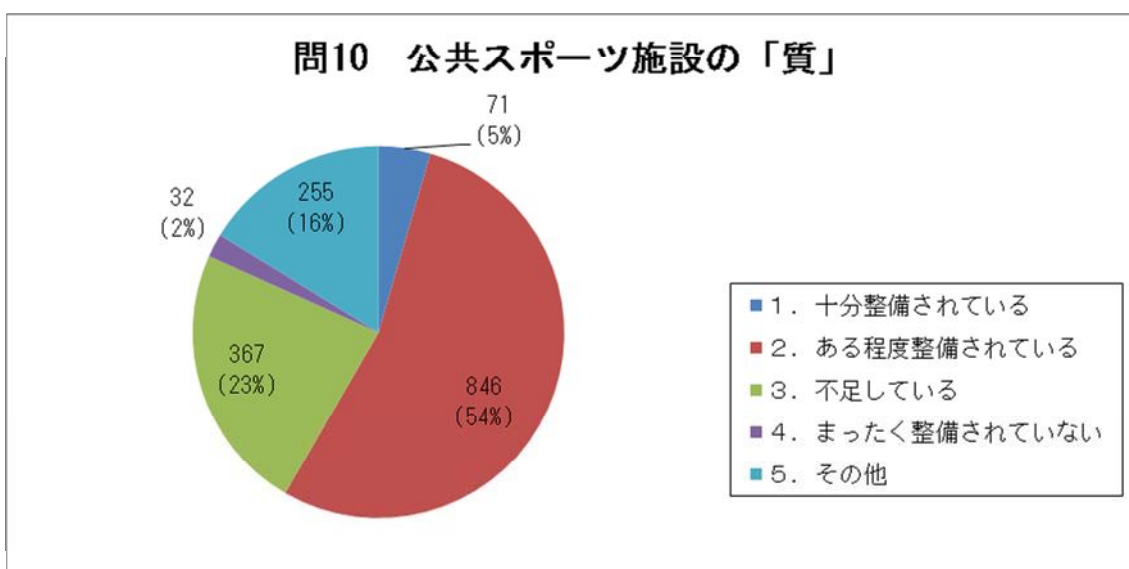
公共スポーツ施設（学校体育施設を除く）を利用する上での要望について聞いたところ、「利用手続きを簡単にして欲しい」（19.5%）、「利用時間を延ばして欲しい」（19.5%）が2割程度で最も多かった。

【問9】宇都宮市の公共スポーツ施設（学校体育施設を除く）の『数』について、どのように思いますか。（あてはまるもの1つに○をつけてください。）



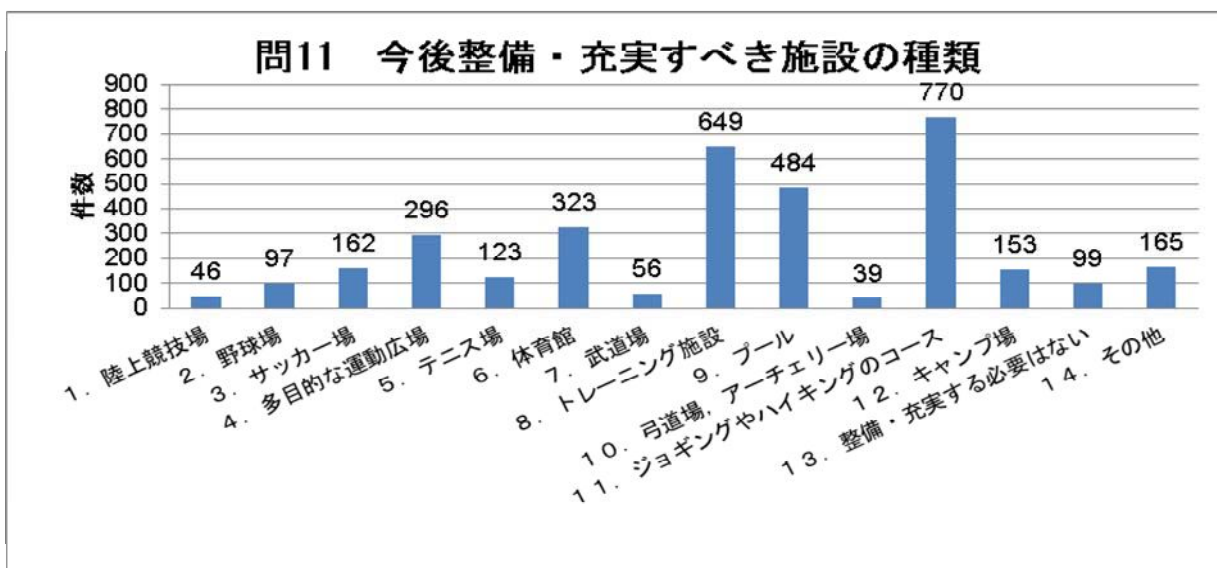
公共スポーツ施設の『数』について聞いたところ、「ある程度整備されている」（46.3%）が4割を超えて最も高く、「不足している」（31.8%）が3割を超えて続いている。

【問10】宇都宮市の公共スポーツ施設（学校体育施設を除く）の『質』について、どのように思いますか。（あてはまるもの1つに○をつけてください。）



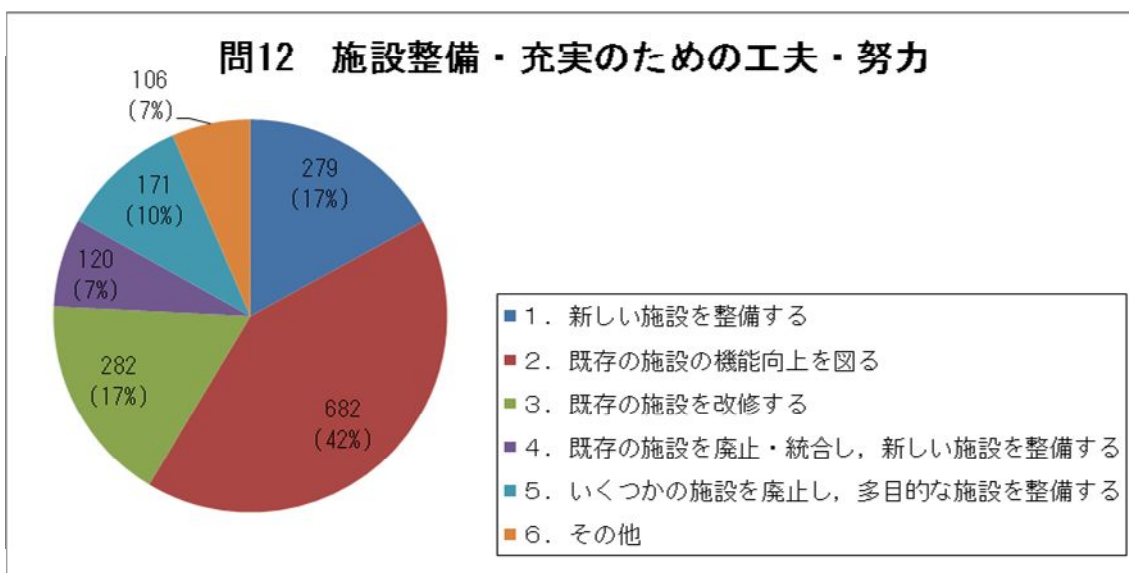
公共スポーツ施設の『質』について聞いたところ、「ある程度整備されている」（53.9%）が5割を超えて最も高く、続いて「不足している」（23.4%）が約2割となっている。

【問 1 1】 今後どのようなスポーツ施設を整備・充実していくことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)



今後どのような施設を整備していくべきか聞いたところ、「ジョギングやハイキングのコース」(22.2%)が2割を超えて最も多く、「トレーニング施設」(18.7%),「フール」(14.0%)が続いている。

【問 1 2】 整備・充実するためにはどのような工夫・努力が必要だと考えますか。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)



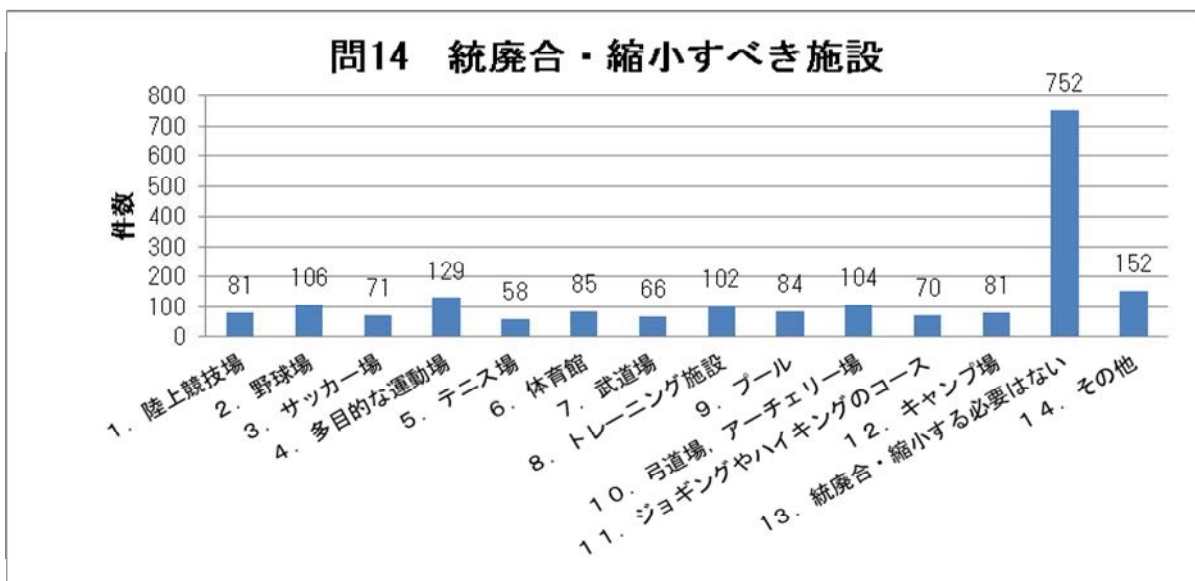
整備・充実するための工夫・努力を聞いたところ、「既存の施設の機能向上を図る」(41.6%)が4割を超えて最も多く、「既存の施設を改修する」(17.2%),「新しい施設を整備する」(17.0%)が続いている。

【問13】施設を整備・充実する必要はないと回答した理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

| 全体 | すでに十分整備されている | 県や近隣市町の施設を利用すればよい | 行政の金銭的負担が大きい | 学校体育施設や民間の施設を活用すればよい | その他 | |
|----|--------------|-------------------|--------------|----------------------|------|--------|
| 99 | 32 | 15 | 50 | 31 | 8 | 全体 |
| | 32.3 | 15.2 | 50.5 | 31.3 | 8.1 | (%) |
| 9 | 4 | 0 | 4 | 5 | 1 | 20～29歳 |
| | 44.4 | 0.0 | 44.4 | 55.6 | 11.1 | (%) |
| 20 | 7 | 3 | 11 | 6 | 3 | 30～39歳 |
| | 35.0 | 15.0 | 55.0 | 30.0 | 15.0 | (%) |
| 18 | 4 | 1 | 10 | 4 | 1 | 40～49歳 |
| | 22.2 | 5.6 | 55.6 | 22.2 | 5.6 | (%) |
| 11 | 2 | 2 | 7 | 4 | 2 | 50～59歳 |
| | 18.2 | 18.2 | 63.6 | 36.4 | 18.2 | (%) |
| 30 | 11 | 6 | 14 | 9 | 1 | 60～69歳 |
| | 36.7 | 20.0 | 46.7 | 30.0 | 3.3 | (%) |
| 11 | 4 | 3 | 4 | 3 | 0 | 70～79歳 |
| | 36.4 | 27.3 | 36.4 | 27.3 | 0.0 | (%) |

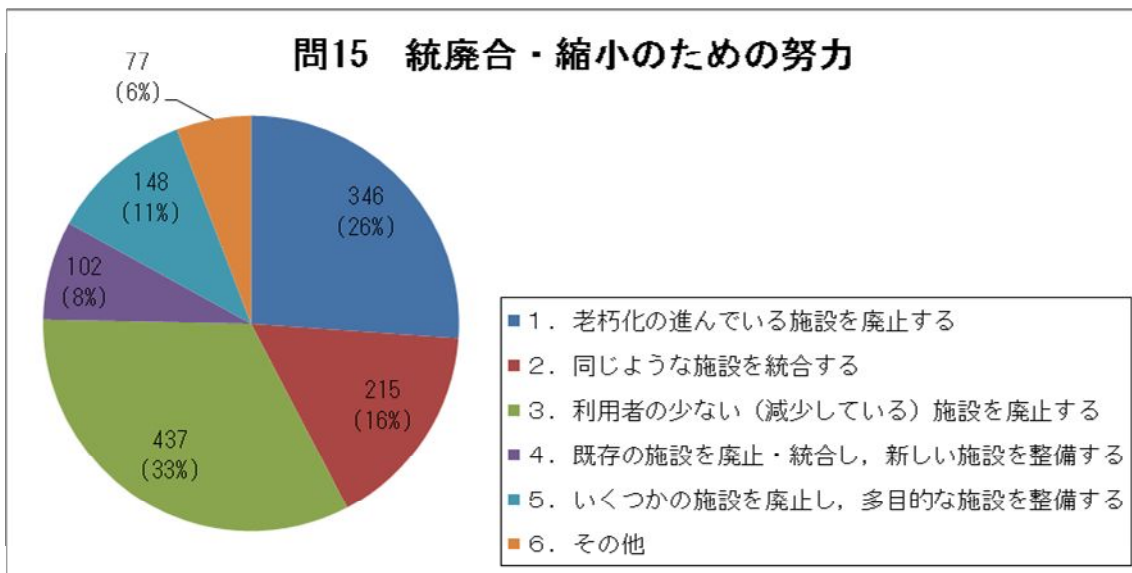
施設を整備・充実する必要がない理由を聞いたところ、「行政の金銭的負担が大きい」(50.5%)が5割を超えて最も多く、「すでに十分整備されている」(32.3%),「学校体育施設や民間の施設を活用すればよい」(31.3%)が続いている。

【問14】今後どのようなスポーツ施設を統廃合・縮小していくことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)



どのような施設を統廃合・縮小する必要があるか聞いたところ、「統廃合・縮小する必要はない」(38.7%)が4割程度で最も多くなっている。

【問15】統廃合・縮小するためにはどのような工夫・努力が必要だと思いますか。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)



統廃合・縮小するための工夫・努力を聞いたところ、「利用者の少ない(減少している)施設を廃止する」(33.0%)が3割を超えて最も多く、「老朽化の進んでいる施設を廃止する」(26.1%)が続いている。

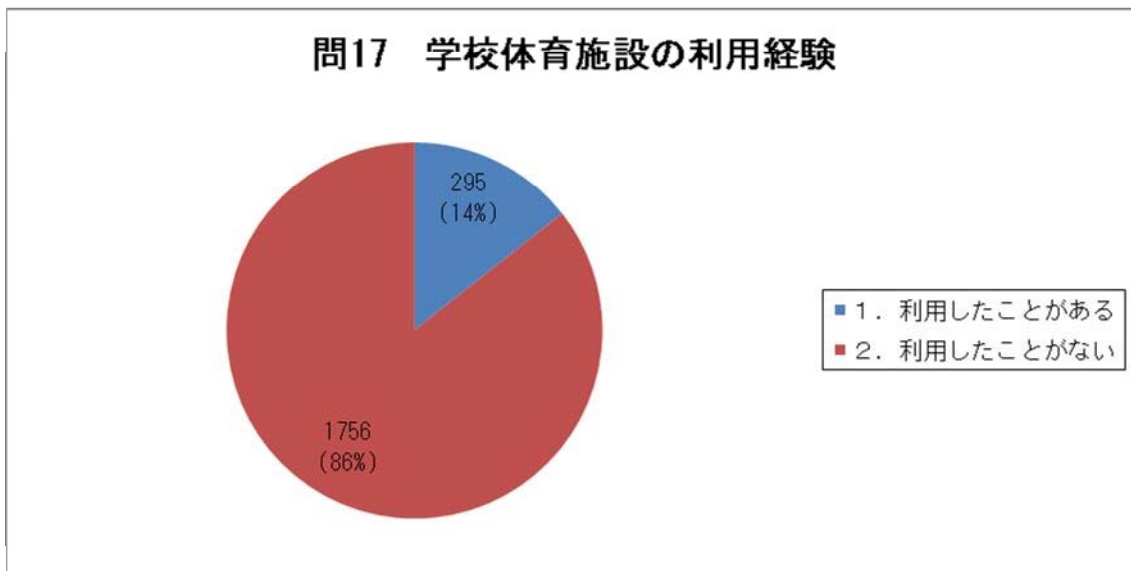
【問16】統廃合・縮小する必要がない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

| 全体 | 施設の数 が足りない から | 施設の 機能が不 十分だか ら | 模範施設 は行政が 整備する ものだけ から | 体育館や 野球場等 の大規模 な施設は | 健康の維 持・増進 や体力の 向上のため には必要だ から | その他 | |
|-----|---------------------|--------------------------|------------------------------------|------------------------------|----------------------------------------------|---------|--|
| 752 | 223 | 114 | 66 | 426 | 43 | 全体 | |
| | 29.7 | 15.2 | 8.8 | 56.6 | 5.7 | (%) | |
| 79 | 13 | 14 | 7 | 45 | 6 | 20～29 歳 | |
| | 16.5 | 17.7 | 8.9 | 57.0 | 7.6 | (%) | |
| 182 | 53 | 31 | 12 | 90 | 12 | 30～39 歳 | |
| | 29.1 | 17.0 | 6.6 | 49.5 | 6.6 | (%) | |
| 172 | 53 | 24 | 17 | 85 | 13 | 40～49 歳 | |
| | 30.8 | 14.0 | 9.9 | 49.4 | 7.6 | (%) | |
| 75 | 27 | 18 | 11 | 49 | 1 | 50～59 歳 | |
| | 36.0 | 24.0 | 14.7 | 65.3 | 1.3 | (%) | |
| 182 | 60 | 21 | 16 | 112 | 9 | 60～69 歳 | |
| | 33.0 | 11.5 | 8.8 | 61.5 | 4.9 | (%) | |
| 58 | 16 | 5 | 3 | 42 | 2 | 70～79 歳 | |
| | 27.6 | 8.6 | 5.2 | 72.4 | 3.4 | (%) | |

統廃合・縮小する必要がない理由を聞いたところ、「健康の維持・増進や体力の向上のためには必要だから」(56.6%)が5割を超えて最も多く、「施設の数足りないから」(29.7%)が続いている。

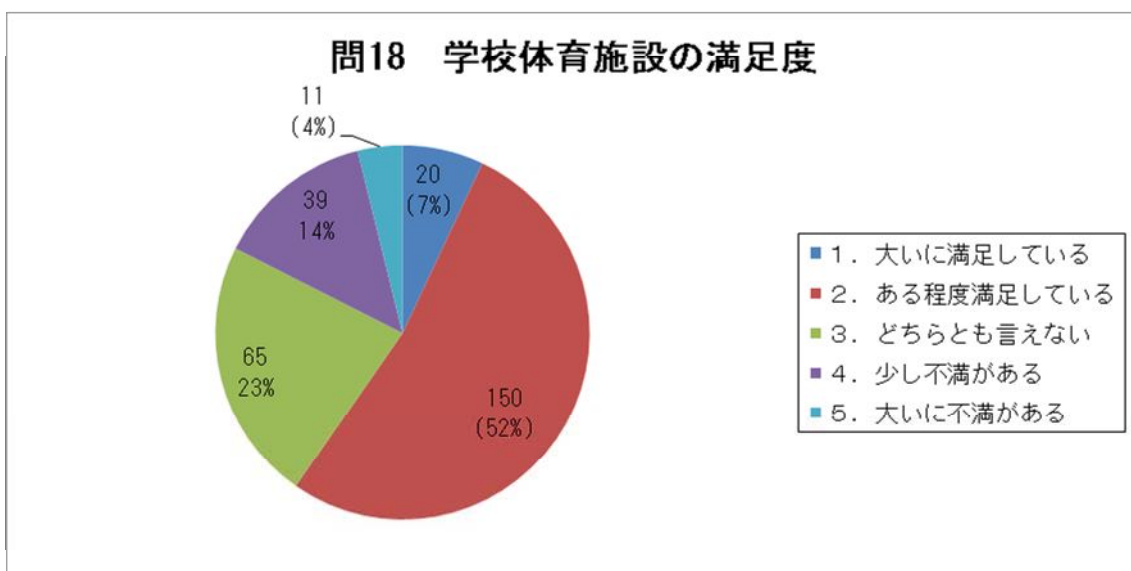
(3) 学校体育施設について

【問17】この1年間に、市内にある学校体育施設を利用したことがありますか。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)



学校体育施設の利用について聞いたところ、「利用したことがない」(85.6%)が8割を超えた。

【問18】学校体育施設の利用に満足していますか。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)



学校体育施設の満足度について聞いたところ、「ある程度満足している」(52.6%)が最も多く、「大いに満足している」(7.0%)を加えると、6割程度となった。

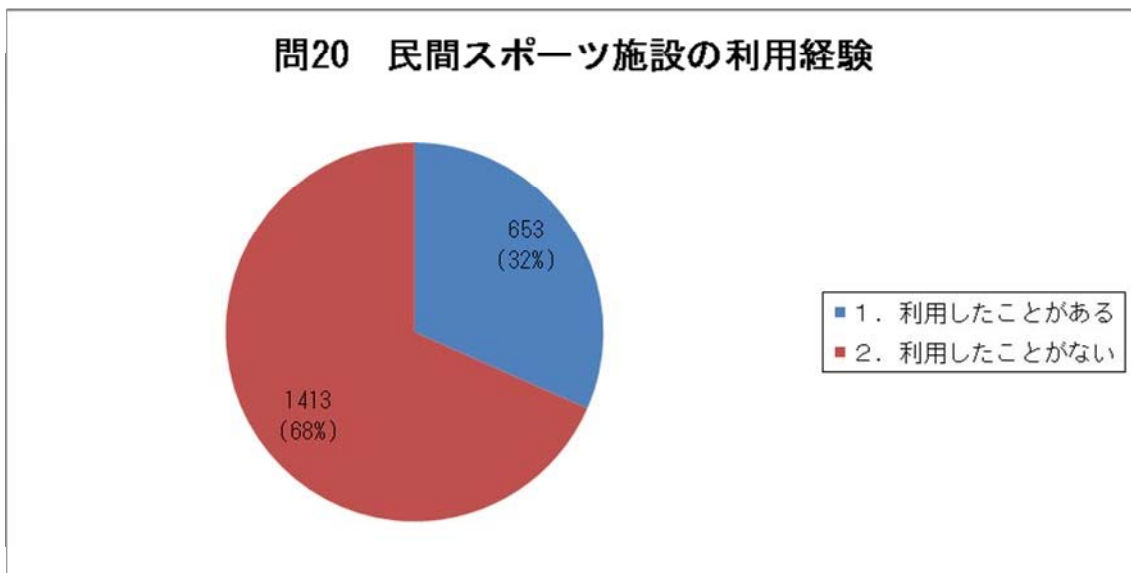
【問19】学校体育施設を利用する上で、要望することは何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

| 全体 | い 利用手続きを簡単に して欲しい | 利用時間を延ばして 欲しい | 利用条件を緩和して 欲しい | て 欲しい 施設の設備や用具を 充実させ | 設 など を整備して欲しい | 付 帯 設 備 (交流施設や託児施 設など) | 特 に ない | そ の 他 | |
|-------|-------------------------|------------------|------------------|-------------------------------|---------------------|---------------------------------------|--------------|---------------|--|
| 1,864 | 422 22.6 | 195 10.5 | 268 14.4 | 260 13.9 | 108 5.8 | 534 28.6 | 77 4.1 | 全体 (%) | |
| 208 | 48 23.1 | 28 13.5 | 35 16.8 | 32 15.4 | 9 4.3 | 53 25.5 | 3 1.4 | 20～29歳 (%) | |
| 434 | 102 23.5 | 61 14.1 | 62 14.3 | 61 14.1 | 44 10.1 | 87 20.0 | 17 3.9 | 30～39歳 (%) | |
| 373 | 88 23.6 | 36 9.7 | 55 14.7 | 53 14.2 | 18 4.8 | 111 29.8 | 12 3.2 | 40～49歳 (%) | |
| 221 | 55 24.9 | 24 10.9 | 37 16.7 | 37 16.7 | 8 3.6 | 54 24.4 | 6 2.7 | 50～59歳 (%) | |
| 446 | 95 21.3 | 38 8.5 | 60 13.5 | 53 11.9 | 20 4.5 | 154 34.5 | 26 5.8 | 60～69歳 (%) | |
| 171 | 31 18.1 | 7 4.1 | 19 11.1 | 22 12.9 | 9 5.3 | 70 40.9 | 13 7.6 | 70～79歳 (%) | |

学校体育施設を利用するうえでの要望を聞いたところ、「特にない」(28.6%)が3割程度で最も多く、「利用手続きを簡単にして欲しい」(22.6%)が続いている。

(4) 民間のスポーツ施設について

【問20】この1年間に、民間のスポーツ施設を利用したことがありますか。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)



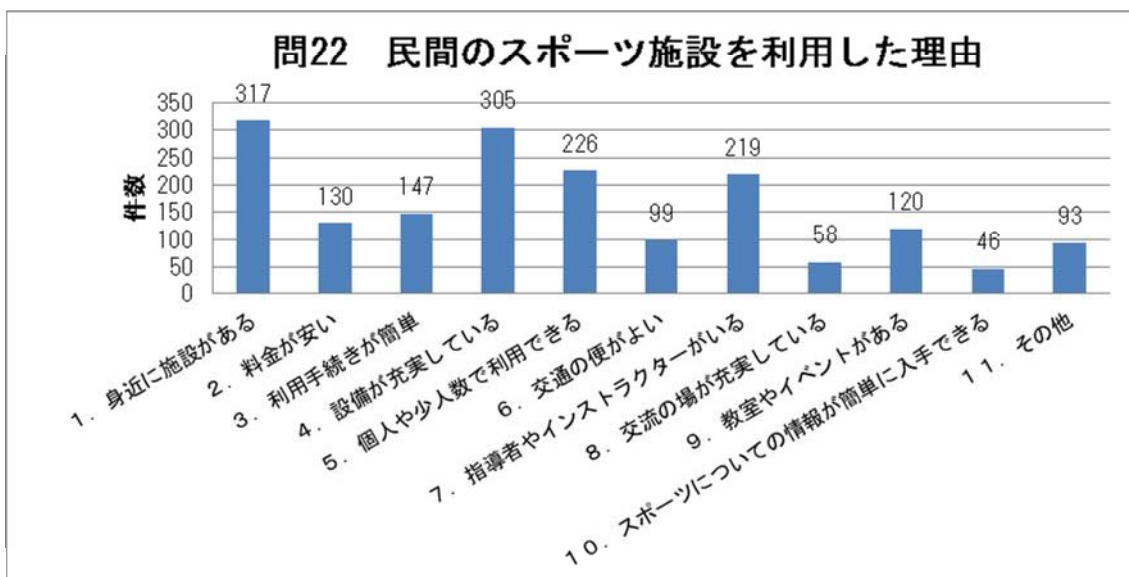
民間のスポーツ施設の利用について聞いたところ、「利用したことがない」(68.4%)が6割を超えた。

【問21】利用した民間のスポーツ施設を何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

| 全体 | トレーニング施設 | プール | ダンススタジオ等 | テニス場 | その他 | |
|-----|----------|------|----------|------|------|--------|
| 653 | 312 | 245 | 96 | 43 | 188 | 全体 |
| | 47.8 | 37.5 | 14.7 | 6.6 | 28.8 | (%) |
| 70 | 33 | 25 | 7 | 2 | 22 | 20～29歳 |
| | 47.1 | 35.7 | 10.0 | 2.9 | 31.4 | (%) |
| 150 | 61 | 62 | 20 | 10 | 41 | 30～39歳 |
| | 40.7 | 41.3 | 13.3 | 6.7 | 27.3 | (%) |
| 138 | 68 | 62 | 26 | 15 | 36 | 40～49歳 |
| | 49.3 | 44.9 | 18.8 | 10.9 | 26.1 | (%) |
| 75 | 37 | 22 | 15 | 8 | 18 | 50～59歳 |
| | 49.3 | 29.3 | 20.0 | 10.7 | 24.0 | (%) |
| 154 | 78 | 51 | 16 | 8 | 52 | 60～69歳 |
| | 50.6 | 33.1 | 10.4 | 5.2 | 33.8 | (%) |
| 62 | 32 | 21 | 11 | 0 | 19 | 70～79歳 |
| | 51.6 | 33.9 | 17.7 | 0.0 | 30.6 | (%) |

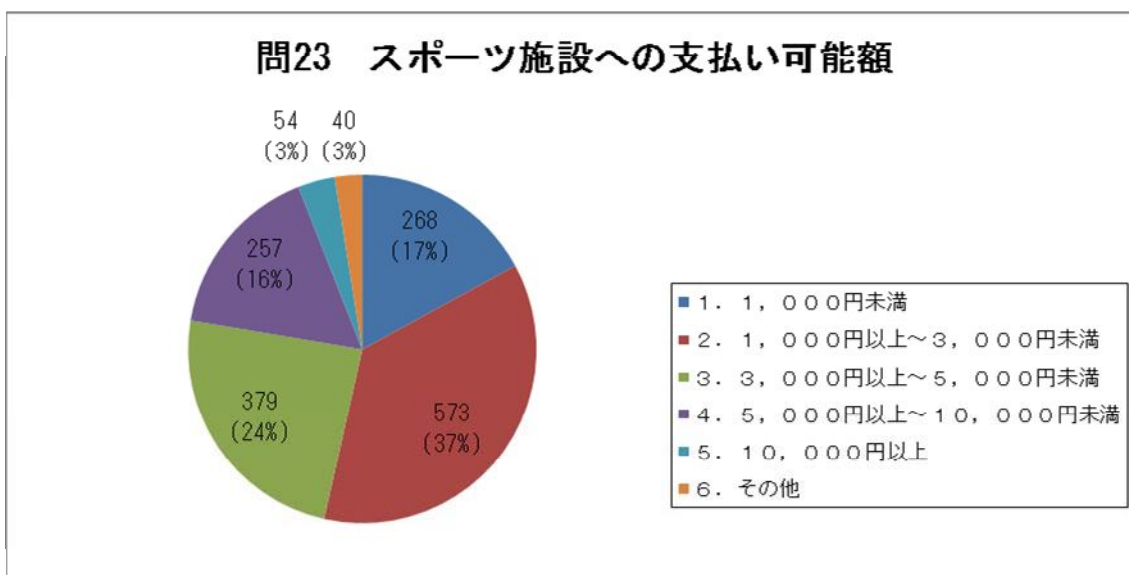
利用した民間のスポーツ施設を聞いたところ、「トレーニング施設」(47.8%)が5割程度で最も高く、「プール」(37.5%)が続いている。

【問22】民間のスポーツ施設を利用したのはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)



民間のスポーツ施設を利用した理由を聞いたところ、「身近に施設がある」(18.0%)が最も高く、「設備が充実している」(17.3%)、「個人や少人数で利用できる」(12.8%)が続いている。

【問23】スポーツをするために1ヶ月当たりいくらまで支払可能ですか。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)



スポーツをするための支払い可能額を聞いたところ、「1,000円以上～3,000円未満」(36.5%)が最も高く、「3,000円以上～5,000円未満」(24.1%)が続いている。

【問24】スポーツ施設について、何を求めますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

| 全体 | 指導者の配置 | スポーツ教室やイベント等の充実 | 利用案内や予約状況検索など広報の充実 | サービスの向上 | 各種スポーツ情報の提供 | その他 | |
|-------|--------|-----------------|--------------------|---------|-------------|-----|--------|
| 2,591 | 441 | 595 | 613 | 468 | 389 | 85 | 全体 |
| | 17.0 | 23.0 | 23.7 | 18.1 | 15.0 | 3.3 | (%) |
| 276 | 28 | 59 | 82 | 58 | 38 | 11 | 20～29歳 |
| | 10.1 | 21.4 | 29.7 | 21.0 | 13.8 | 4.0 | (%) |
| 548 | 65 | 124 | 148 | 121 | 68 | 22 | 30～39歳 |
| | 11.9 | 22.6 | 27.0 | 22.1 | 12.4 | 4.0 | (%) |
| 520 | 86 | 123 | 120 | 117 | 60 | 14 | 40～49歳 |
| | 16.5 | 23.7 | 23.1 | 22.5 | 11.5 | 2.7 | (%) |
| 317 | 76 | 73 | 72 | 44 | 47 | 5 | 50～59歳 |
| | 24.0 | 23.0 | 22.7 | 13.9 | 14.8 | 1.6 | (%) |
| 683 | 133 | 156 | 147 | 92 | 134 | 21 | 60～69歳 |
| | 19.5 | 22.8 | 21.5 | 13.5 | 19.6 | 3.1 | (%) |
| 228 | 50 | 56 | 39 | 32 | 39 | 12 | 70～79歳 |
| | 21.9 | 24.6 | 17.1 | 14.0 | 17.1 | 5.3 | (%) |

スポーツ施設に求めるものを聞いたところ、「利用案内や予約状況検索など広報の充実」(23.7%)が最も高く、「スポーツ教室やイベント等の充実」(23.0%)が続いている。

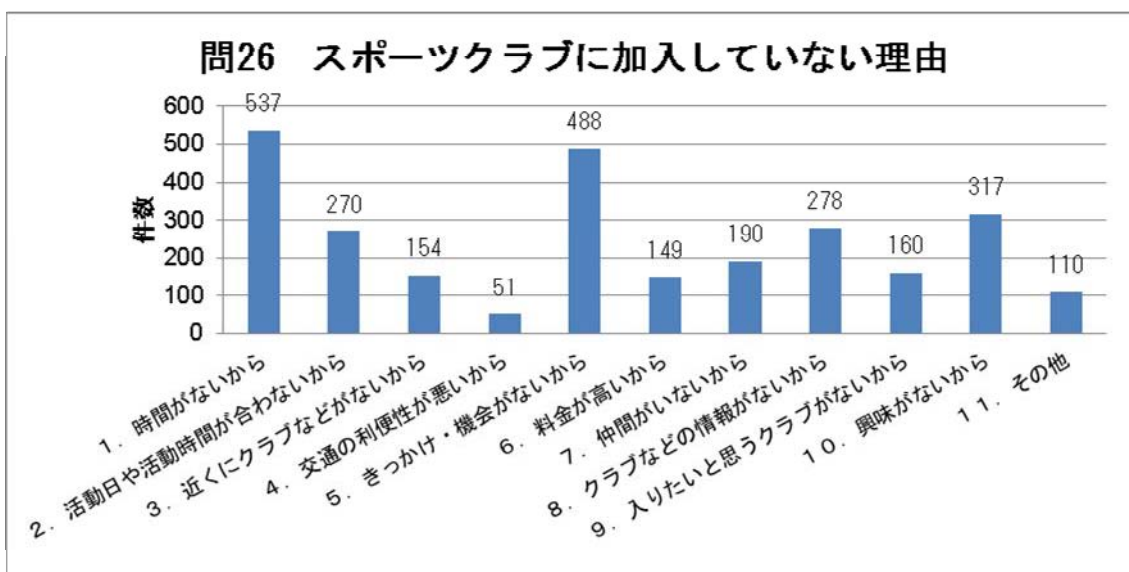
(5) スポーツクラブについて

【問25】運動やスポーツのクラブ、同好会・チームに加入していますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

| 全体 | 地域スポーツクラブ | 地域住民が中心のクラブ等 | 職場の仲間が中心のクラブ等 | 友人や仲間が中心のクラブ等 | 民間の会員制スポーツクラブ等 | 生じたクラブ等 | スポーツ教室等から発 | 加入していない | その他 | |
|-------|-----------|--------------|---------------|---------------|----------------|---------|------------|---------|--------|--|
| 2,099 | 72 | 89 | 68 | 191 | 144 | 26 | 1,471 | 38 | 全体 | |
| | 3.4 | 4.2 | 3.2 | 9.1 | 6.9 | 1.2 | 70.1 | 1.8 | (%) | |
| 193 | 3 | 3 | 12 | 20 | 5 | 1 | 147 | 2 | 20～29歳 | |
| | 1.6 | 1.6 | 6.2 | 10.4 | 2.6 | 0.5 | 76.2 | 1.0 | (%) | |
| 396 | 12 | 13 | 19 | 41 | 23 | 2 | 283 | 3 | 30～39歳 | |
| | 3.0 | 3.3 | 4.8 | 10.4 | 5.8 | 0.5 | 71.5 | 0.8 | (%) | |
| 388 | 14 | 9 | 10 | 29 | 29 | 5 | 289 | 3 | 40～49歳 | |
| | 3.6 | 2.3 | 2.6 | 7.5 | 7.5 | 1.3 | 74.5 | 0.8 | (%) | |
| 245 | 9 | 9 | 10 | 21 | 20 | 6 | 165 | 5 | 50～59歳 | |
| | 3.7 | 3.7 | 4.1 | 8.6 | 8.2 | 2.4 | 67.3 | 2.0 | (%) | |
| 580 | 23 | 30 | 14 | 45 | 47 | 9 | 401 | 11 | 60～69歳 | |
| | 4.0 | 5.2 | 2.4 | 7.8 | 8.1 | 1.6 | 69.1 | 1.9 | (%) | |
| 281 | 11 | 25 | 3 | 32 | 17 | 3 | 176 | 14 | 70～79歳 | |
| | 3.9 | 8.9 | 1.1 | 11.4 | 6.0 | 1.1 | 62.6 | 5.0 | (%) | |

スポーツのクラブやチームに加入しているか聞いたところ、「加入していない」(70.1%)が7割を超えて最も高く、「友人や仲間が中心のクラブ等」(9.1%)が続いている。

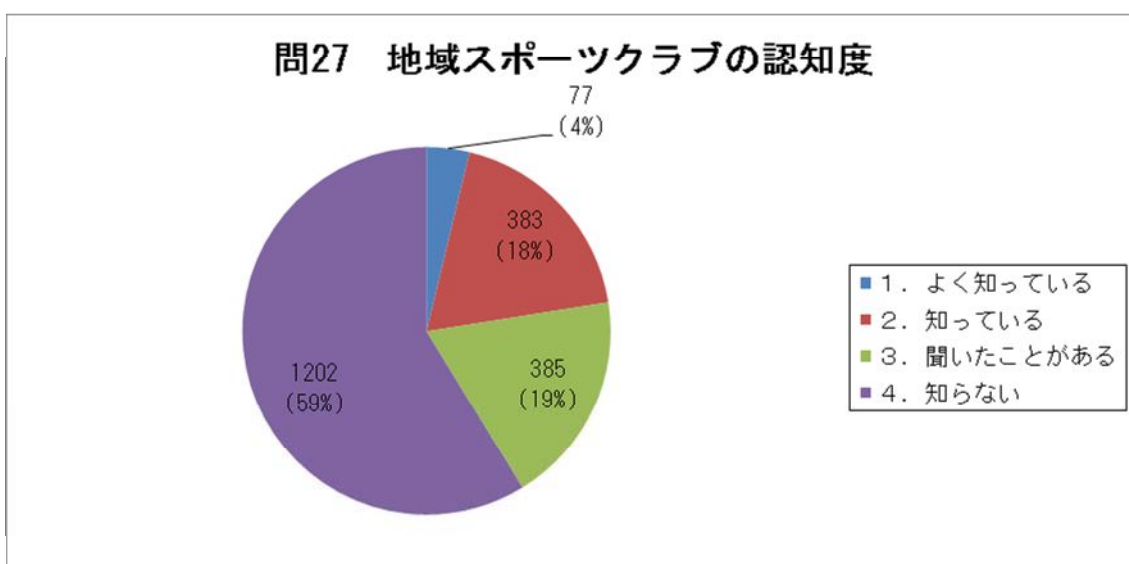
【問26】運動やスポーツのクラブ、同好会・チームに加入していないのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)



スポーツのクラブやチームに加入していない理由を聞いたところ、「時間がないから」(36.5%)が最も高く、「きっかけ、機会がないから」(33.2%)が続いている。

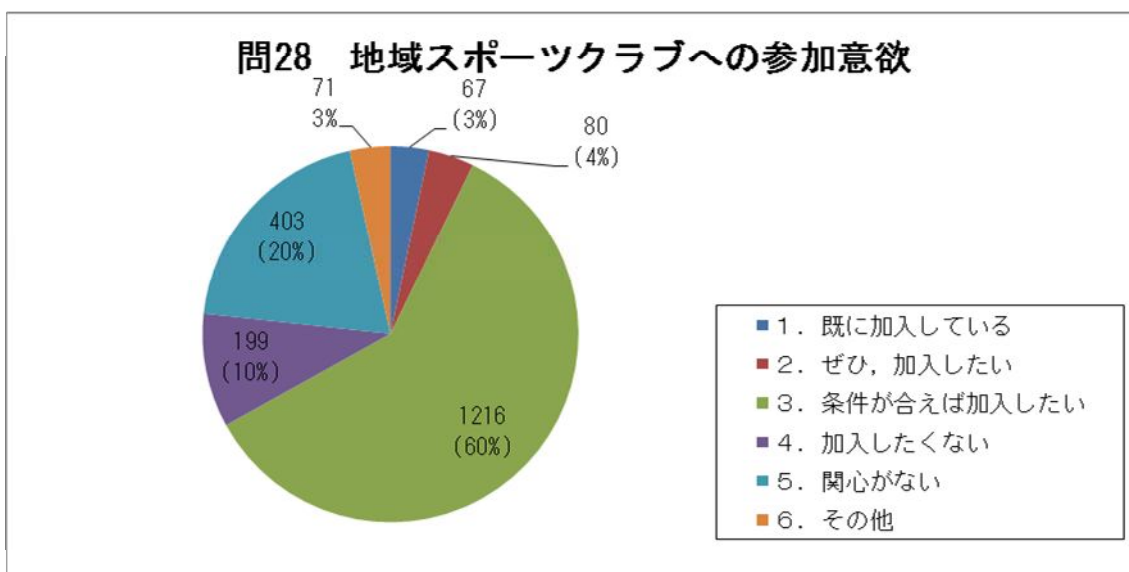
(6) 地域スポーツクラブについて

【問27】地域スポーツクラブを知っていますか。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)



地域スポーツクラブの認知度を聞いたところ、「知らない」(58.7%)が約6割と最も多く、「聞いたことがある」(18.8%),「知っている」(18.7%)が続いている。

【問28】身近に地域スポーツクラブができれば、入りたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)



地域スポーツクラブに入りたいかを聞いたところ、「条件が合えば加入したい」(59.7%)が約6割ともっとも多くなっている。

だれもが、いつでも、いつまでも
スポーツを楽しむ生涯スポーツ社会の実現

宇都宮市スポーツ推進計画

～ ひとり1スポーツの実現 ～

発行 : 平成27年3月 宇都宮市・宇都宮市教育委員会

編集 : 宇都宮市教育委員会事務局スポーツ振興課

〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1-1-5

TEL 028-632-2753

FAX 028-632-2765

E-mail u-4610@city.utsunomiya.tochigi.jp